

令和4（2022）年度

教員養成機関等との連携による  
専門人材育成・確保事業

（グローバル化に対応した外国語教育推進事業）

慶應義塾大学

令和5年2月

## はじめに

本冊子は、文部科学省の委託事業として慶應義塾大学が実施した令和4年度「教員養成機関等との連携による専門人材育成・確保事業（グローバル化に対応した外国語教育推進事業）」の資料をを纏めたものです。

この事業は、慶應義塾大学外国語教育研究センター研究推進委員会が受け皿となり、東京都・神奈川県・埼玉県で様々な言語を担当する中学・高校・大学の教員の協同で進めました。

最初に申請時の事業実施計画書と、事業の概要を記した見取り図（文部科学省書式、1枚）を掲載し、続いて今年度の事業で作成した指導案様式のフォーマットと、これについて解説した PowerPoint スライド、そして各研究担当者が作成した指導案を収録しています。

事業で得られた様々な成果は Web での公開も行います。合わせてご利用いただけると幸いです（<http://user.keio.ac.jp/~yamashita/gaikokugokyoten/>）。

慶應義塾大学外国語教育研究センター副所長・事業研究主任 山下 一夫

(様式1-1)

令和 4年 2月 10日

事業実施計画書

文部科学省初等中等教育局長 殿

都道府県教育委員会等名 学校法人慶應義塾  
所 在 地 東京都港区三田2丁目15-45  
代 表 者 職 ・ 氏 名 理事長・伊藤 公平

令和4年度「教員養成機関等との連携による専門人材育成・確保事業（グローバル化に対応した外国語教育推進事業）」における事業実施計画書を提出します。

1. 事業の実施期間

契約締結日 ～ 令和5年3月23日
-------------------

2. 研究拠点の学校名 (学校数が多い場合は欄を追加すること)

ふりがな	かりたすじょしちゅうがくこうとうがっこう	ふりがな	はぎわらちかこ
学校名	カリタス女子中学高等学校	校長名	萩原千加子
ふりがな	よこはましりつみなと そうごうこうとうがっこう	ふりがな	みやむらひろふみ
学校名	横浜市立みなと総合高等学校	校長名	宮村浩文
ふりがな	とうきょうとりつおうめそうごうこうとうがっこう	ふりがな	すずきしんや
学校名	東京都立青梅総合高等学校	校長名	鈴木信也
ふりがな	かながわけんりつふじさわそうごうこうとうがっこう	ふりがな	いちかわまさと
学校名	神奈川県立藤沢総合高等学校	校長名	市川誠人
ふりがな	さいたまけんりついながくえんそうごうこうとうがっこう	ふりがな	ますぶちのりとし
学校名	埼玉県立伊奈学園総合高等学校	校長名	増淵則敏
ふりがな	とうきょうとりつだいごしょうぎょうこうとうがっこう	ふりがな	おがわたかし
学校名	東京都立第五商業高等学校	校長名	小川孝
ふりがな	かながわけんりつふかさわこうとうがっこう	ふりがな	はぎのやひであき
学校名	神奈川県立深沢高等学校	校長名	萩谷英明

### 3. 研究内容

#### (1) 研究課題

英語以外の多様な外国語科目の教育を担う教師の資質向上とネットワーク構築の支援  
——新学習指導要領を踏まえた授業実践に必要な理論的枠組みの共有と授業づくりの実践——

#### (2) 研究の概要

本事業は、中等教育において英語以外の多様な外国語の教育を担う教師の資質向上とネットワークの構築を、以下の内容によって支援するものである。

1. 新学習指導要領の実施に伴い、3 観点による観点別学習状況の評価が令和 4 年度から導入される。これを受け、研究拠点校の担当者が、それぞれの現場で評価・評定をどのように運用しているかを共有するとともに、よりよい評価を実施するために、必要な理論的枠組みについて研究担当者、拠点校の担当者を含むプロジェクトメンバー全員が研修し、そのうえで各校の担当者が授業設計に反映させられるようにする。
2. 英語以外の多様な外国語教育を担う教員を対象としたワークショップを開催し、1. によって得られた成果を共有するとともに、開発した具体的な指導と評価に関する資料の公開も行う。
3. 年間を通じて、プロジェクト内外のさまざまな教員と意見交換をする機会をとらえ、英語以外の多様な外国語を一つの教科と考えた際の教科独自の見方・考え方について議論を深める。

#### (3) 現状の分析と仮説等

##### ①現状の分析と研究の目的

高等学校における新指導要領導入に伴う、3 観点による観点別学習状況の評価は、令和 4 年度が初年度となり、現場の教員の中でも試行錯誤で実施していくことが予想される。また、英語以外の多様な外国語教育を担当する教員については、特に語種をまたいだ情報交換や共同研究の場はほとんどない。

そこで本事業においては、新しい評価システムの理論的バックグラウンドについての理解を深め、拠点校の担当者が評価計画を含む単元指導案を開発する。この単元指導案をもとに、広く関心のある教員を対象としたワークショップをオンラインで開催し、具体的な指導と評価に関する資料を広く公開することで、英語以外の多様な外国語教育を担う教師の資質向上をサポートする。

##### ②研究仮説

1. 高等学校において英語以外の外国語を担当する教師は、新しい学習指導要領や評価の在り方について研修する機会がほとんどないことを踏まえ、本プロジェクトに参加する研究拠点校の担当者、プロジェクトメンバーを対象に、評価をテーマとした勉強会を開催し、理論的バックグラウンドを強化するとともに、それをベースに研究拠点校の担当者が評価の具体的な実践を行う。
2. 1. の成果を、プロジェクトメンバー以外の（英語を含む）多様な外国語教育に携わる教員向けワークショップで共有することを通じて、英語以外の多様な外国語教育を担う教員の資質能力を向上させてゆくことが可能である。
3. 運営指導委員および拠点校の担当者に、英語や国語などことばに関連する教科を担当（兼任）する教師や大学における初修外国語を担当する教員を含めることで、教科「英語」や教科「国語」

における実践、初修外国語における研究を、評価計画作成にあたって参考とすることが可能である。

4. 今年度からは、商業高等学校や普通科の高等学校を加えるなど、様々な学校を研究拠点校とし、またこれまで通り高等教育・中等教育における複数言語の関係者が協働することにより、個別言語の事情を超えて、外国語教育としての汎用性を確保した評価計画の方法の開発が可能である。また、開発、実践した指導・評価計画については、Web で公開する。

5. 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和 4 年度も引き続きプロジェクトメンバーが参加する会合やワークショップはすべてオンラインで進める計画となっている。これまで、対面では参加できなかった遠隔地からの参加が可能になり、英語以外の外国語教育に携わる教員のネットワークづくりにもつながる。

6. 昨年度は、ほとんどの研究拠点校で、オンライン授業を経験している。その際の ICT 機器の活用についてもそのノウハウを蓄積することも可能である。

### ③研究成果の評価方法

ワークショップ参加者や Web で公開する実践例については参加者・閲覧者に対するアンケート調査によって、教師の資質向上のために行った支援の成果について評価を行う。また、アンケートの実施に加え、これまでプロジェクトが実施する研究に関心を示し、継続してワークショップに参加している教員にモニターを依頼し、研究成果を評価してもらうことを計画している。

## (4) 研究計画

### 1. 評価に関する理論的枠組みについて研修

プロジェクトメンバーで学習者評価に関するこれまでの研究成果を共有し、疑問点を明らかにしたうえで、外部講師を呼び、研修を行う。新学習指導要領で提示されている 3 つの観点別評価、指導と評価の一体化などについてより深い理解を得ることをめざす。

また、運営指導委員の中には、中学校の英語教員とも交流がある高校の英語教員が含まれることから、まず、中学の英語教科における評価の状況についての情報を得て、それも含めて評価に対する理解を深める。

2. 1. を踏まえ、これまで開発してきた指導案様式のうち、評価規準や評価計画に関する部分に関し、記入内容と記入方法を検討し、必要があれば改訂する。その際、CEFR を長年研究している運営指導委員（ドイツ語教員）や、高校の韓国語検定の開発に従事している運営指導委員（韓国語教員）の助言を得て、共通の指標の使用についても検討していきたい。

### 3. 評価計画に基づいた授業の実践

研究拠点校の担当者は、2. で検討、改訂された指導案様式にのっとり、評価に関する計画を立て、それを実践する。

### 4. ワークショップの開催

プロジェクトメンバー以外のより多くの外国語担当教員と評価に関する理論的枠組みを共有するとともに、プロジェクトが開発した指導と評価を一体化させた指導案様式を実践例とともに示すことで、英語以外の外国語教育の現場での実践の質的向上をめざす。

### 5. 公開授業の相互参観

研究拠点校の研究担当者が実施する授業を参観するとともに、授業後に実施する検討会において、評価を含めた指導計画について、意見交換を行う。

### 6. Web 等を通じた資料の公開

プロジェクトメンバーが開発した指導案様式、実際に使用した評価方法（テスト、ルーブリックなど）をウェブサイトに掲載し、多くの外国語教員が使えるようになることをめざす。

## (5) 評価計画

1. 教師自身の省察、および拡大プロジェクトメンバーを含めたプロジェクトメンバー間でディスカッションを行い、それぞれが実施した具体的な評価の状況について、意図した評価ができていたかどうかを検証、評価する。
2. ワークショップの参加者に対して、終了後にアンケート調査を実施し、自身の今後の実践にどの部分がどのように参考になったかについて検証、評価する。
3. アンケートの実施に加え、これまでプロジェクトが実施する研究に関心を示し、継続してワークショップに参加している教員にモニターを依頼し、研究成果を評価してもらう。
4. 本事業の取り組みについて学会等で口頭発表を行い、参加した外部の専門家によってプロジェクト全体の評価を行ってもらう。

## 4. 実施体制

## (1) 実施体制の概要 ※別紙参照

慶應義塾大学外国語教育研究センター内に、同センター研究推進委員会に属する大学側の研究担当者（4名、研究主任を含む）、実際に研究拠点校で英語以外の外国語（独仏中韓西）の授業を受け持つ研究拠点校7校の担当者（10名）、運営指導委員（4名）からなる当該事業のプロジェクトチームを組織する。

研究拠点校は、多様な学校事情を考慮し、公私立、普通科、普通科総合選択制、総合学科、商業科とし、履修形態（必修／選択）、単位数もさまざまな学校とした。なお、プロジェクトメンバーの他に、拡大プロジェクトメンバー（研究拠点校の担当者ではないが、本プロジェクトの内容に関心があり、自身の取り組みに役立ててみたいと考えている教員）には、研究プロセスに対する助言をしてもらうとともに、研究成果の共有や成果の拡大をめざす。また『外国語学習のめやす』を開発した国際文化フォーラムには引き続き、複数年にわたって実施してきた外国語教師対象の研修を通して得られた知見を提供してもらうとともに、研究成果の高等学校の外国語教育関係者への周知に関して全面的協力を得る。このほか、本事業に申請予定の大東文化大学および大阪大学とは情報交換をはじめ、それぞれの研究の成果を共有することで、プロジェクトの内容をより深める体制をとる。

## (2) 研究担当者（研究主任は氏名に○印を付すこと）

職名	氏名	担当学年及び教科
慶應義塾大学／教授	○山下一夫	中国語
慶應義塾大学／教授	吉川龍生	中国語
慶應義塾大学／助教 (R.4.4～慶應義塾大学 ／非常勤講師の予定)	縣由衣子	フランス語、英語

(様式1-1)

上智大学／非常勤講師 (R.4.4～慶應義塾大学 ／助教の予定)	金景彩	韓国語
カリタス女子中学高等学 校／教諭	小林典子	中学2学年／フランス語
東京都立第五商業高等学 校／講師	遠藤正承	3学年／韓国語
東京都立第五商業高等学 校／講師	柳虎順	3学年／韓国語
横浜市立みなと総合高等 学校／講師	温悠	1,2,3学年／中国語、日本語
横浜市立みなと総合高等 学校／講師	池谷尚美	2,3学年／ドイツ語
東京都立青梅総合高等学 校／講師	石黒みのり	2,3学年／韓国語
神奈川県立藤沢総合高等 学校／教諭	潮田央	1,2,3年次／中国語、国語
神奈川県立藤沢総合高等 学校／教諭	佐々木亮太	2,3年次／スペイン語、英語
埼玉県立伊奈学園総合高 等学校／教諭	鈴木冴子	1,2,3学年／ドイツ語、英語
神奈川県立深沢高等学校 ／教諭	日比野規生	3学年／スペイン語、英語

## (3) 運営指導委員会

## ① 組織

氏名	所属	職名	備考(専門分野等)
境 一三	慶應義塾大学	教授 (R.4.4～慶應義 塾大学名誉教授 の予定)	ドイツ語、ドイツ語教育
山下 誠	高等学校韓国朝鮮語教育ネット ワーク 神奈川県立岸根高等学校	元代表  教諭	韓国語教育、社会科教育
辻 祐哉	神奈川県立平塚江南高等学校	教諭	英語教育
水口景子	(公財)国際文化フォーラム	常務理事	外国語教育、国際交流

## ② 活動計画

運営指導委員会は、本事業の大学側の研究担当者とともに会合を開き、事業全体の運営とプロジェクトメンバーへの指導などを行う。具体的な活動内容は以下の通りである。

(様式1-1)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの研究成果の検証と課題の洗い出しを行うとともに、年間で数回開催される全体会で進める議論の論点整理を行うとともに、会合をファシリテートし、研究担当者への助言・指導を行う。</li> <li>・今年度の研究テーマとなる「評価」に関する資料を収集し、プロジェクトメンバーへの提供を行う。</li> <li>・拠点校の研究担当者の指導計画に対して助言・指導を行う。</li> <li>・研究授業の見学し、授業後に行われる検討会で助言・指導を行う。</li> <li>・ワークショップの企画を行うとともに、当日の運営を担当する。</li> <li>・指導事例集など Web で公開する資料の内容について助言を行う。</li> </ul>
---

5. 年間事業計画

月	研究拠点の取組	運営指導委員会
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●拠点校の研究担当者：これまでの自身の実践例の検証を踏まえ、今年度の年間授業計画や評価計画を準備する</li> <li>●大学側研究担当者：運営指導委員とともに、今年度の研究テーマに関する資料収集と年間の研究推進について検討</li> </ul>	今年度の研究テーマに関する資料収集と年間の研究推進について検討
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■第1回コアメンバー会合開催@オンライン</li> <li>●大学側研究担当者：運営指導委員とともに、第1回全体会合に向け論点を整理し、当日の進行について協議、勉強会の内容について協議</li> </ul>	第1回全体会合の論点整理と当日の進行、勉強会の内容について協議
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■第1回プロジェクト全体会合@オンライン</li> <li>●拠点校の研究担当者：従来の振り返りと今年度の課題確認</li> <li>●大学側研究担当者：会合に参加し、適宜助言を行う</li> <li>■プロジェクトメンバーを対象とした勉強会 テーマ：評価</li> <li>●拠点校の研究担当者と大学側研究担当者：勉強会に参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体会合に参加し、適宜助言を行う。</li> <li>・勉強会に参加</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●拠点校の研究担当者：単元の指導と評価の計画の見直し</li> <li>●大学側研究担当者：8月開催の全体会合に向けての論点整理と当日の進行について検討</li> </ul>	
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●拠点校の担当者：10月-12月実施する研究授業の指導案の準備</li> <li>●大学側研究担当者：適宜助言や指導を行う</li> </ul>	拠点校の担当者の指導案等に適宜助言や指導を行う。
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●拠点校の研究担当者：10月-12月実施する研究授業の指導案の準備</li> <li>■第2回コアメンバー会合</li> <li>●大学側研究担当者：運営指導委員とともに、10月に実施するワークショップの進め方等について協議</li> </ul>	大学側研究担当者とともに、10月に実施するワークショップの進め方等について協議

(様式1-1)

10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ワークショップの開催@オンライン</li> <li>評価をテーマにした講演と参加者の意見交換</li> <li>■研究拠点校における研究授業</li> <li>●拠点校の担当者：研究授業の実施</li> <li>●大学側研究担当者：研究事業および授業検討会に参加</li> </ul>	ワークショップに参加 適宜研究拠点校における研究授業に参加
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■研究拠点校における研究授業</li> <li>●拠点校の担当者：研究授業の実施</li> <li>●大学側研究担当者：研究事業および授業検討会に参加</li> <li>■第3回コアメンバー会合</li> <li>●大学側研究担当者：運営指導委員と1月に実施するワークショップの企画策定</li> </ul>	適宜研究拠点校における研究授業に参加 大学側研究者とともに、1月に実施するワークショップの企画策定
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■研究拠点校における研究授業</li> <li>●拠点校の担当者：研究授業の実施</li> <li>●大学側研究担当者：研究事業および授業検討会に参加</li> <li>■第3回プロジェクト全体会合@オンライン</li> <li>●拠点校の担当者、大学側研究担当者：1月のワークショップの内容、Webで公開する資料準備について協議</li> </ul>	適宜研究拠点校における研究授業に参加 全体会合に参加し、拠点校担当者、大学側研究者とともに、ワークショップ、Webで公開する資料について協議
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ワークショップの開催@オンライン</li> <li>プロジェクトメンバーの具体的な評価計画に基づくディスカッション</li> <li>外部講師にコメンテーターを依頼</li> <li>●拠点校の担当者、大学側研究担当者：ワークショップに参加</li> </ul>	ワークショップに参加
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■開発した指導計画などの資料のWeb公開に向けての準備</li> <li>●拠点校の研究担当者：開発した指導計画や教材等のWeb公開用/印刷物掲載用原稿の作成</li> </ul>	大学側研究担当者とともにWebおよび印刷物による資料公開について協議
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■Web公開、印刷資料配付</li> <li>■研究成果のJACTFL(日本外国語教育推進機構)のシンポジウムでの発表</li> <li>●拠点校の研究担当者、大学側研究担当者：シンポジウムに参加</li> </ul>	シンポジウムに参加
【その他の取組】※あれば記入		



■授業の概要

1. 学校名：\*\*県立\*\*高等学校
2. 科目名：\*\*語初級
3. 単位数：\*単位（50分×週\*時間）
4. 担当者：専任（社会を\*時間担当）、ALT週\*時間）
5. クラスの構成：総合選択、2・3年次共修 16名、例年約半数が次年度中級選択する
6. 生徒の概況：KPOP 関心から選択したという生徒と消極的選択の生徒が混在、取り組みにムラ有
7. 使用教科書：『\*\*\*語』（\*\*社、2016）

■年間指導案

1. 年間目標：

生きて働く 知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養

2. 単元構成：

月	単元名	備考

■単元指導案

1. 単元名

2. 単元目標

生きて働く 知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養

3. 社会と文化への気づきのポイント

4. 他教科・他科目との関連

5. パフォーマンス課題

6. 単元指導における評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力 ⇒観点別学習状況評価	学びに向かう力・人間性	
		主体的に 学習に取り組む態度	一人ひとりの生徒のよい 点・可能性・進歩の状況 ⇒個人内評価

7. 各次の指導と具体的な評価規準

次	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
1			
2			
3			
4			

5			
6			
7			

8. パフォーマンス課題の評価ルーブリック

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a			
b			
c			

9. 補足事項

2022.0122全体会合

## 単元指導案の書き方要領

- 文部科学省委託「教員養成機関等との連携による専門人材育成・確保事業（グローバル化に対応した外国語教育推進事業）」
- 受託：慶応大学外国語センター

- 様式自体は、**基本的に**変わっていませんが
- 書き方＝考え方について、多くの議論がありました。
- その結果を反映して、書き方要領が**更新**されました。
- 本日は、この部分について説明します。

## ■授業の概要

1. 学校名：\*\*県立\*\*高等学校  
2単位=50分×週2回日  
or  
2単位=50分×2コマ連続×週1日 など
2. 科目名：\*\*語初級
3. 単位数：\*\*単位 (50分×週\*時間)  
専任/非常勤、TTの有無  
他教科・科目の担当有無 など
4. 担当者：専任 (社会を\*時間担当)、ALT週\*時間  
必修/選択、学年、人数、履修構造 など
5. クラスの構成：総合選択、2・3年次必修 16名、例年約半数が次年度中級選択する
6. 生徒の概況：KPOP 関心から選択したという生徒と消極的選択の生徒が混在、取り組みにムラ有
7. 使用教科書：『\*\*\*語』(\*\*\*社、2016)  
学習動機は？  
取り組み状況は？ など

■年間指導案

1. 年間目標：

知識・技能の習得	思考力・判断力・表現力の育成	学びに向かう力・人間性の涵養

・ 5 領域 (= 4 技能) に着目

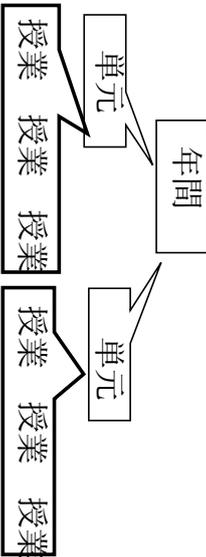
- ① 1 年間の学習活動を通して生徒に身につけてほしい資質・能力を記述する  
 ← ① 学習指導要領「教科外国語の目標」  
 ② 教員自身のピリヤー ← 学習・教授経験

- ② ①を 3 つの柱ごとに記述する  
 ← 学習指導要領を参考に

2. 単元構成：

月	単元名	備考

\* 単元 (= 学習内容のまとめ) を軸にして・・・



\* パフォーマンス課題実施 (表題/時期など) を明示

E先生の素案に基づいて作成された年間目標を、学習指導要領の枠組みを参考に改善した案

	基文	(1)生きて働く知識・技能の習得	(2)未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成	(3)学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養
学習指導要領における目標 中学校外 外国語	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと等の言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり、伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することをめざす。	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり、伝えあったりすることのできる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う
単元指導案における年間目標 先生原案 二改素案	・学習を通して韓国語や韓国の文化、社会に関心を深め、日本の共通点や違いを客観的にみるることができるようにする。 ・韓国語で簡単な日常会話や自己表現ができるようにする。	韓国語独特の語彙や表現、日本語と似た語彙や表現を理解する。	コミュニケーションに必要な基本表現を覚え、状況に合わせて使えるよう工夫する。	日韓の言語や文化・社会の共通点や違いに気づき、互いを尊重しようとする。
単元指導案における年間目標 先生原案 二改素案	・外国語の見方・考え方を働かせ、主として話したり、聞いたりする言語活動をとおして、なじみかな話題について自分の考えを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することのできるようにする。 ・学習を通して韓国語や韓国の文化、社会に対する関心を深め、日本文化や社会との共通点や違いなどを、客観的にとらえることができるようにする。	・韓国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを、日本語との比較をしながら、理解できるようにする。 ・これらの知識を相互に結びつけて、主として聞くことや話すこと、また読むことや書くことの実際のコミュニケーションにおいて、活用できる技能を身に付けるようにする。	・目的や場面、状況を的確に判断し、すでに習得した知識や技能を使って韓国語によるコミュニケーションを行う力を養う。 ・自分自身に関する話題や学校に関する話題について、簡単な情報や考えなどを主として聞いて理解したり、主として話したり伝えたりすることのできる力を養う。	・日本語・韓国語（および英語などの既習言語等）各言語圏の文化・社会の共通点や違いに気づき、尊重しようとする態度を養う。 ・これを生かして、主として聞き手や話し手、また読み手や書き手に配慮しながら、主体的に韓国語をもちいてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ・高校での学びの経験を通して、韓国語をはじめとする外国語によるコミュニケーションに好奇心をもち続けようとする態度を養う。

単元構成に、パフォーマンズ課題の実施時期・内容を示した例

④ 2. 単元構成：

月	単元名	備考
4月	中国語で挨拶して名前交換する。	挨拶して名前や国籍を言う（会話、ペンインの読み方、発音）
5月		
6月	教室のなかのものを言い当てる。	物当てクイズ（疑問詞）
7月	買い物をする。	買物のロールプレイ（会話、数字の学習）
8月	自己紹介をする。	既習事項を使った、自己紹介カードの作成（挨拶、名前、住んでいる場所）
9月	【パフォーマンス課題①】姉妹校の生徒と、自己紹介カードを使って交流しよう。	
10月	①朗読大会に参加しよう。 ②誕生日あてゲーム。	①漢詩を使った朗読大会（発音の総復習） ②数字、年月日、週の言い方
11月	高校生の一日を表現する。 【パフォーマンス課題②】中国の高校生の一日を調べ、発表してみよう。	動画のアップ（ペンインの入力、時間詞、動作）
12月	ビデオカメラで交通する。 【パフォーマンス課題③】自分の高校の生徒の一日を、ビデオカメラにして紹介しよう。	ビデオ撮影（観光地の情報、交通機関、金額、所要時間の言い方）

■ 単元指導案

1. 単元名

2. 単元目標

生きて働く 知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	学びを人生に豊かに生かそうとする 学びに向かう力・人間性の醸成
-------------------	--------------------------------	------------------------------------

3. 社会と文化への関与のポイント

4. 他教科・他科目との関連

5. パフォーマンス課題

6. 単元指導における評価観照

知識・技能	思考力・判断力・表現力 ⇒観点別学習状況評価	学びに向かう力・人間性	
		主体的に 学習に取り組む態度	一人ひとりの生きたよび 点・可能性・達成の取組 ⇒個人別評価

年間目標を  
本単元の内容に応じて具体化する

・ 言語の背景及び結果としての文化の学び  
⇒ 「第2の外国語」の重要な柱  
・ 留意点：①年間/単元目標との連関  
②言語を使ってこそ学べる文化

・ カリキュラムやマネジメントの視点から  
= 学校全体で、資質・能力育成に取り組む

・ 資質、能力を育成するために  
最も適した評価法のひとつという位置づけで

・ 「2. 単元の目標」の達成状況を、  
「見取る」ポイントを明確化・意識化し、  
記述する



# 言語教育と異文化コミュニケーション能力の関係 イメージ





7. 単元の指導と評価の計画

次	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>「中国の高校生の一日を紹介しよう」動画を見て、単元の目標を理解する。</li> <li>趣味や好きなことを表現するために、動作についての単語やその決まりを理解する。</li> <li>教科書の文を使って、人物が何をしているか伝え合う。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動作に関する語彙や表現（趣味の聞き方、動作の表現、それらの文法的なきまり）を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオテープによる確認（6次）</li> <li>→ 【知識・技能】</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書やプリントの絵を見て、人物が何をしているか伝え合う。</li> </ul>	<p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動作に関する語彙や表現（趣味の聞き方、動作の表現、それらの文法的なきまり）を理解し、口頭で表現している。</li> </ul>	<p>（記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動を確認する）</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きなこと、動作を表現する単語やきまりについて口頭で知識・技能を確認する。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動や行動について、動詞・目的語を使う文の構造を理解している。</li> <li>PCで中国語を入力する技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>口頭での確認（4次）</li> <li>→ 【知識・技能】</li> <li>・振り返りの記述の分析</li> <li>→ 【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>

当該次で実施しない場合は、実施次を明示する

記録に残す評価を行わない場合は、明示する

8. パフォーマンス課題の評価ルーブリック

・生徒用と教師用で、表現を変えることもあり  
 ・b = 目標達成とし、3段階または5段階が基本

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a			
b			
c			

9. 補足事項

8. 単元指導における評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力 ⇒観点別学習状況評価	学びに向かう力・人間性	
		主体的に学習に取り組む態度	一人ひとりの生徒のよい点・可能性・進歩の状況 ⇒個人内評価

7. 各次の指導と具体的な評価の計画

次	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
1			
2			
3			
4			

8. パフォーマンス課題の評価ルーブリック

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a			
b			
c			

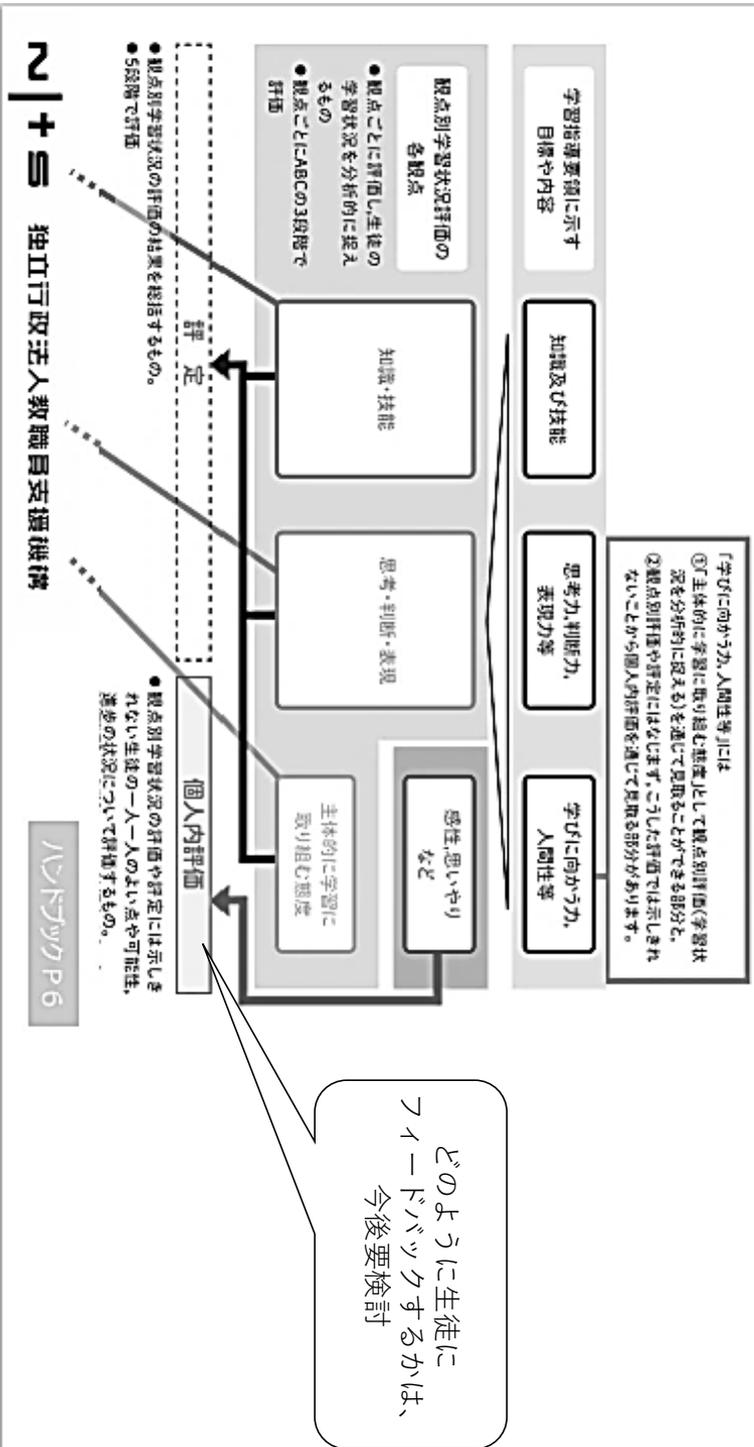


6. 学習指導における具体的な評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性	
		主体的に 学びに取り組む態度	一人ひとりの生徒の よい点・可能性・進歩の状況
⇒観点別学習状況評価		⇒個人内評価	
<p>観点別状況評価や評定には示しきれない</p>			
<p>・「評価の評定化」の課題を意識する ＝次のスライドを参照</p>			

## 各教科における評価の基本構造

### 2. 学習評価の基本構造



■授業の概要

1. 学校名：東京都立第五商業高等学校
2. 科目名：韓国語
3. 単位数：2
4. 担当者：遠藤正承（非常勤講師）、柳虎順（非常勤講師）
5. クラスの構成：高校3年生44名 2講座同時展開（22名×2講座）
6. 生徒の概況：韓国語に関心がある生徒、K-POP・韓流ドラマに関心がある生徒ほか
7. 使用教科書：金順玉・阪堂千津子『最新チャレンジ!韓国語』（白水社、2014年）

■年間指導案

1. 年間目標：

<p>韓国語の特性およびその背景にある文化や社会、韓国語を使用する人々の考え方や価値観に関心を持ち、韓国と日本の文化や社会を理解し、コミュニケーションの前提となる考える力を身につけるようにする。</p> <p>韓国語による聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの言語活動を通して、話し手や書き手の考えや情報を理解することができるようにすること、および聞き手や読み手に対して考えや気持ちを伝えることができる資質・能力を育成することを目標とする。</p>		
<p>生きて働く 知識・技能の習得</p>	<p>未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成</p>	<p>学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養</p>
<p>韓国語の文字や発音、語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読みこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけるようにする。</p>	<p>韓国語でコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、韓国語で簡単な情報や考えなどを聞いたり読み取ったり、これらを活用して話したり、書いたり、伝え合ったりすることができる力を養う。</p>	<p>韓国語の背景にある韓国文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に韓国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。韓国語の特性や韓国語を使用する人々の考え方や価値観に関心を持ち、日本および韓国に住む人々の文化や社会を比較対照しつつ考察し理解する。</p>

## 2. 単元構成：

月	単元名	備考
4, 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字や発音に慣れよう。</li> <li>・挨拶や自己紹介をしてみよう。</li> </ul>	
6, 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の予定や持ち物の有無を尋ねてみよう。</li> <li>・興味を持ったことを尋ねてみよう。</li> </ul>	
9, 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手のスケジュールを聞き、自分の予定を話してみよう。</li> <li>・「へヨ(해요)体」と固有語数詞、漢字語数詞</li> </ul>	
11, 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国の食文化について知ろう。</li> <li>・自分の好みやしたいことを話してみよう。</li> </ul>	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のしたことを話してみよう</li> </ul>	

### ■単元指導案

#### 1. 単元名 韓国の食文化について知ろう

#### 2. 単元の目標

<p>韓国の料理・食文化や、それに直接関連した語彙・表現・ことわざを学び、それらについて、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーション能力の育成を目標とする。また料理・食文化に関連した韓国語の特性およびその背景にある文化や社会、韓国語を使用する人々の考え方や価値観に関心を持ち、日本の食文化や社会と比較・対照しつつ理解する。</p>		
生きて働く 知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食文化に関連した語彙や表現、ことわざを読んで理解し、話したり、聞いたり、書いたりすることができる。</li> <li>・韓国の食文化と関わりがあるキーワードを調べて韓国社会をより深く知ることができる。</li> <li>・新しい単語を辞書で調べることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4コマ漫画で使われている食と関係がある表現を、漫画の場面を見ながら推測し、意味を見つけて訳することができる。</li> <li>・食文化と関わりがあるキーワードについて、自分のグループで調べたり、他のグループの発表を聞いたりすることによって日韓の文化を比較し、書いたり、仲間に話したり、伝え合ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料理・食文化に関する意味の分からない言葉について粘り強く考え、仲間とやりとりして意味を推測しながら、コミュニケーションをとり続けようとする態度を身につけることができる。</li> <li>・韓国の食文化について調べ、それらを日本の食文化と比べて、共通点や違いについて整理し、聞き手に分かりやすく話したり、画像を見せながら伝えようとする。</li> <li>・食文化だけではなく、日本および韓国に住む人々の文化や社会を比較しながら理解しようとする。</li> </ul>

### 3. 社会と文化への気づきのポイント

韓国語には食文化とつながっている表現が多い。慣用句やことわざだけではなく、日ごろの挨拶や会話にも食べることを大切に思う意識が表れている。食文化を理解することでことばの背景にある韓国人の考え方をより深く理解することができる。

### 4. 他教科・他科目との連携

- ・地理歴史・地理総合:朝鮮半島の衣食住文化
- ・国語・言語文化:食に関する日本語表現との比較対照
- ・外国語・英語:食文化に関連する英語独特の表現との対照

### 5. パフォーマンス課題

- ・食文化および関連する語句や表現を調べ発表しよう。

### 6. 学習指導における具体的な評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性	
		主体的に 学びに取り組む態度	観点別状況評価や評定には示しきれない 一人ひとりの生徒の よい点・可能性・進歩の状況
⇒観点別学習状況評価		⇒個人内評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食文化に関連した語彙や表現、ことわざを読んで理解し、話したり、聞いたり、書いたりすることができる。</li> <li>・韓国の食文化と関わりがあるキーワードを調べて韓国社会をより深く知ることができる。</li> <li>・新しい単語を辞書で調べることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4コマ漫画で使われている食と関係がある表現を、漫画の場面を見ながら推測し、意味を見つけて訳することができる。</li> <li>・食文化と関わりがあるキーワードを自分のグループで調べたり、他のグループの発表を聞いたりすることによって日韓の文化を比較し、書いたり、仲間に話したり、伝えあったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料理・食文化に関する意味の分からない言葉について粘り強く考え、仲間とやりとりして意味を推測しながら、コミュニケーションをとり続けようとする態度を身につけることができる。</li> <li>・韓国の食文化について調べ、それらを日本の食文化と比べて、共通点や違いについて整理し、聞き手にわかりやすく話したり、画像を見せながらわかりやすく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食文化とことばの関連性に気づこうとしている。</li> <li>・食文化以外に日韓の文化や習慣の違い、共通点にも興味を持つようとしている。</li> <li>・知識や経験を仲間と共有し話し合い、多くの発見をしようとしている。</li> </ul>

		伝えようとしている。 ・食文化だけではなく、日本および韓国に住む人々の文化や社会を理解しようとしている。	
--	--	---	--

## 7. 単元の指導と評価の計画

次	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>韓国語で書かれたキムチに関係のある4コマ漫画を日本語に訳してみよう。</li> <li>4コマ漫画の会話で使われたキムチと関係がある慣用句を使い自分の身の回りのことを話してみよう。</li> <li>グループ活動</li> </ul>	<p>【知識・技能】(読む、話す、やりとりする)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今まで学習してきた表現や語彙を参考にし、韓国語で書かれた4コマ漫画を読むことができています。</li> <li>辞書をひくことができています。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】(読む、書く、やりとりする)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>提示した会話文の意味を推測し、日本語に似ている表現はないか、グループ内でやりとりしながら考え検討し、訳すことができています。</li> <li>キムチと関係がある慣用句を使い、自分の身の回りのことを話している。</li> <li>他グループの発表を聴き、自グループの検討内容と照合し、正しいかどうかを見きわめようとしている。</li> </ul>	<p>ワークシート 後日ペーパーテスト など</p> <p>(記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動を確認する)</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>韓国のお盆とお正月(二大名節)のどちらか一つをグループで選び、調べる。</li> <li>調べたことについて、画像を取り込み整理し、PPTで発表原稿を作成し発表する。</li> <li>グループ活動</li> </ul>	<p>【知識・技能】(読む、話す、やりとりする)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループで選んだキーワードについて図書やインターネットで調べ、内容を理解、確認している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】(発表する、聞く、やりとりする)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調べたことを聴者がよく理解できるようグループでやりとりしながら考え検討し、工夫しながら原稿を作成し発表している。</li> <li>他グループの発表を聴き、新たな気づき、発見をしようとしている。</li> </ul>	<p>発表原稿 ループリック</p>

3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国語で書かれたごはんに関係のある4コマ漫画を日本語に訳してみよう。</li> <li>・4コマ漫画の会話で使われたごはんと関係がある慣用句を使い自分の身の回りのことを話してみよう。</li> <li>・グループ活動</li> </ul>	<p>【知識・技能】(読む、話す、やりとりする)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで学習してきた表現や語彙を参考にし、韓国語で書かれた4コマ漫画を読むことができています。</li> <li>・辞書をひくことができています。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】(読む、書く、やりとりする)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提示した会話文の意味を推測し、日本語に似ている表現はないか、グループでやりとりしながら考え検討し、訳することができています。</li> <li>・ごはんと関係がある慣用句を使い、自分の身の回りのことを話している。</li> <li>・他グループの発表を聴き、自グループの検討内容と照合し、正しいかどうかを見きわめようとしている。</li> </ul>	<p>ワークシート 後日ペーパーテストなど</p> <p>(記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動を確認する)</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味関心を持った食文化に関するキーワード(屋台料理、デリバリー、キムジャン、おまけ、お酒のマナー)をグループで一つ選び、調べる。</li> <li>・調べたキーワードについて、画像を取り込み整理し、PPTで発表原稿を作成し発表する。</li> <li>・グループ活動</li> </ul>	<p>【知識・技能】(読む、話す、やりとりする)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで選んだキーワードについて図書やインターネットで調べ、内容を理解、確認している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】(発表する、聞く、やりとりする)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2次の発表を踏まえ、聴者が内容をより理解できるようグループでやりとりしながら考え検討し、韓国語と日本語で原稿を作成し、発表している。</li> <li>・他グループの発表を聴き、新たな気づき、発見をしようとしている。</li> </ul>	<p>発表原稿 ループリック</p>

■本時の指導案

本時(1校時)の指導と評価の計画

分	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出欠点呼・今日の授業目標を述べる。</li> <li>・韓国の食べ物について知っていることがあるか聞く。 한국 음식에는 무엇이 있어요?(韓国の食べものには何がありますか) 먹어 봤어요?(食べたことありますか)</li> </ul>		
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国の食べ物の中、家庭でふつうに食べているものの写真を見ながら説明する。(写真1. 밥ごはん 국スープ 만찬おかず 찌개なべ物 등등)</li> <li>➡韓国人がふだん何を食べているか提示した後 저게 뭐예요?(あれは何ですか) 한국말로 뭐라고 해요?(韓国語で何といいますか) などの質問をして確認する。</li> </ul>		
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食と関係があるつぎの慣用句を提示する。 밥알을 세다(飯粒を数える/まずそうに食べる) 밥 먹듯 하다(ご飯を食べるようにする/日常茶飯事のように平気です)・ 찬밥 더운밥 가리다(冷や飯、熱い飯を選り分ける/立場を弁えず選り好みする)</li> <li>・慣用句が入った4コマ漫画の会話文を提示する。(資料参照)</li> <li>・各グループ別に、どのような日本語がふさわしいか検討しながら会話文を訳して発表する。</li> <li>・教師が正解を教える。</li> </ul>	<p>【知識・技能】(読む、話す、やりとりする)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで学習してきた表現や語彙を参考にし、4コマ漫画を読むことができる。</li> <li>・辞書をひくことができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提示した語について、グループで検討し、意見を集約しながら、内容を理解しようとしている。</li> <li>・ごはんと関係がある慣用句を使い、自分の身の回りのことを話している。</li> </ul>	ループリック
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提示された慣用句を使い会話文を作成する。(資料参照)</li> <li>・作成した会話文を発表する。</li> </ul>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴者に分かりやすいよう工夫し発表している。</li> </ul>	ループリック

5	まとめ:국물도 없다. (①汁もない②容赦しない。承知しない). などの二重的な表現を中心に		
---	---	--	--

本時(2校時)の指導と評価の計画

次	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
20	<p>韓国の食文化を調べてまとめてみよう。(以下のキーワードを中心に) 各グループ1個</p> <p>길거리 음식 (屋台料理)</p> <p>배달 음식 (デリバリー)</p> <p>김장 (冬にキムチをつける行事)</p> <p>담 (おまけ)</p> <p>食事マナー (お酒のマナー)</p> <p>おごり文化</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた時間で駆使できるツールを使い適切な情報を見つけている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・得られた情報について仲間と話し合いながら PPT で発表原稿を作成している。</li> </ul>	
20	<p>調べた韓国の食文化を日本の食文化と比較して発表する。</p> <p>①グループでまとめた情報をもとに発表する。(各グループ 5分)</p> <p>②発表した内容について質問する。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめた内容を聴者が分かりやすいように工夫してプレゼンしている。</li> </ul>	<p>ルーブリック</p> <p>発表を観察</p>
5	<p>①一人一人が各キーワードを中心に日韓の食文化についてまとめ、授業の中で新しく気付いたことを書く。</p>	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日韓の食文化の共通点や違いを発見し、理解している。</li> </ul>	
5	<p>①新たに気付いたことを話す。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに気付いたことがある。</li> </ul>	

パフォーマンス課題の評価ルーブリック(教員用) 2校時用

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a 興味関心を持った食文化に関するキーワード(屋台料理、デリバリー、キムジャン、おまけ、お酒の文化、おごり)の内容を理解した上で、それらを非常にわかりやすく、かつ適切に画像も取り込み、PPTで発表原稿を作成している。	a 興味関心を持った食文化に関するキーワードの内容について、仲間と話し合い、状況に応じて判断し、非常にわかりやすく発表している。	a 興味関心を持った食文化に関するキーワードについて、内容を把握し、日韓の共通点や違いを調べ、関心を深めようとしている。
b 興味関心を持った食文化に関するキーワードの内容を理解した上で、それらを概ねわかりやすく、かつ適切に発表原稿を記している。	b 興味関心を持った食文化に関するキーワードの内容について、仲間と話し合い、状況に応じて判断し、概ねわかりやすく発表している。	b 興味関心を持った食文化に関するキーワードについて、内容を概ね把握し、日韓の共通点や違いを調べ、関心を持つようとしている。
「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

3年 組 番、なまえ( )  
 他グループの発表評価用手続き(生徒用) 2校時用

	5 目標達成	3 おおよそ目標達成	1 努力が必要
Aスムーズ	非常にスムーズ。	おおよそスムーズ。	よく止まる。
B 内容の わかりやすさ	とてもよくわかった。	おおよそわかった。	わかりづらい。
C 関心の拡大	非常に関心をもった。	おおよそ関心をもった。	ぜんぜん関心をもたなかった。
D発表内容への 理解	とてもよく理解した。	おおよそ理解できた。	ぜんぜん理解できなかった。

韓国語と食文化 ワークシート

2022년 11월 25일

他グループの発表を聞き、「他グループの発表評価用手続き(生徒用)」を見ながらこたえてください。

班の なまえ	・発表を聞いて発見したこと、質問、疑問等 ・発表への感想一言	上記「手続き」参照		
		5	3	1
1班	・発見、質問、疑問等 ・発表へ一言	A		
		B		
		C		
		D		
2班	・発見、質問、疑問等 ・発表へ一言	A		
		B		
		C		
		D		
3班	・発見、質問、疑問等 ・発表へ一言	A		
		B		
		C		
		D		
4班	・発見、質問、疑問等 ・発表へ一言	A		
		B		
		C		
		D		

資料 本時(1校時)に使用した4コマ漫画

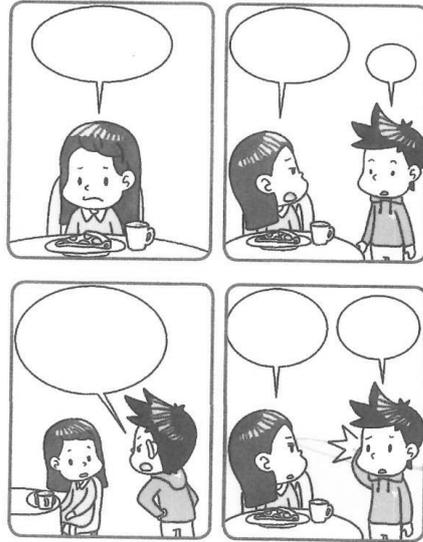
### 찬밥 더운밥 가리다



· 힘들다 : 大変だ · 시켜 먹자 : 出前を取ろう

### 찬밥 더운밥 가리다

· イラストを見ながら“찬밥 더운밥을 가리다”の名場面を日本語で訳してください。



■授業の概要

1. 学校名： 埼玉県立坂戸高等学校
2. 科目名： コミュニケーションスペイン語
3. 単位数： 2単位＝45分×2（2時間連続授業）
4. 担当者： 和田 瞳（非常勤・他教科担当なし）  
TT有り（多言語指導員：エリザベス・デレオン・アランダ）
5. クラスの構成： 外国語科 高校2年生10名(男5名・女5名)  
※高2、高3で「第二外国語」の授業があり、中、仏、独、西から1つの言語を2年間学ぶ。
6. 生徒の概況： 今年度スペイン語の学習を始めた生徒たちである。  
外国語科の生徒であるため、外国語への興味・関心が高い。
7. 使用教科書： 『¡Imagínatelo! (イラストで楽しもう、スペイン語)』改訂版（朝日出版社, 2021）
8. 研究授業の日時： 令和5年2月1日（水）5・6時間目（13:00～13:45, 13:55～14:40）

■年間指導案

1. 年間目標：

スペイン語の言語的特徴を理解し、スペイン語による聞く、読む、話す、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーション能力の育成を目指す。また、スペイン語が世界で広く使用されていることを認識し、世界に対してより広い視野を養うことを目標とする。		
生きて働く 知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力 の育成	学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養
スペイン語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけるようにする。 スペイン語が使用されている国や地域、及びスペイン語が話されるようになった背景に関する理解を深	スペイン語によるコミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題についてスペイン語で情報や考えを的確に理解したり、適切に表現したり伝えあったりする力を養う。	スペイン語が世界で広く使用されていることを理解し、英語圏以外の地域にも目を向ける姿勢を養う。 異文化及び自身の文化を理解し、尊重しながら、相手に配慮して主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

める。		
-----	--	--

## 2. 単元構成：

月	単元名 (★は社会文化に関する項目)	備考
4月 (3回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベット</li> <li>・母音と子音の発音</li> <li>・あいさつ、教室で使うことば</li> </ul> パフォーマンス課題①「初対面の挨拶をしよう」	
5月 (2回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセントの規則</li> <li>・数字(1～10)</li> </ul> パフォーマンス課題②「電話番号を伝え合おう」	
6月 (4回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>★世界の国名、都市名など</li> <li>・身の回りの語彙と名詞の性</li> </ul> パフォーマンス課題③ 「スペイン語の単語を読み、スペルを伝えよう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主語代名詞</li> <li>・SER 動詞</li> <li>・国名と国籍の性・数</li> </ul>	1 学期期末テスト
8月 (1回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業の性と数</li> <li>・ESTAR 動詞</li> <li>・体調を表す表現</li> </ul>	
9月 (3回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肯定文、否定文、疑問文の語順とイントネーション</li> <li>★スペイン語圏の人の名前</li> </ul> パフォーマンス課題④ 「自己紹介をして、互いに質問をしあおう」	
10月 (3回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則動詞の活用 (-AR, -ER, -IR)</li> <li>・不規則動詞 VER</li> <li>・場所を表す名詞</li> <li>・前置詞：con, a, de, en</li> <li>・疑問詞：Qué, Dónde, Quién</li> </ul> パフォーマンス課題⑤ 「スペイン語でいろんな質問に答えよう」	-AR: hablar, estudiar, trabajar, tomar -ER: leer, comer, aprender -IR: escribir, vivir

11月 (4回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定冠詞と不定冠詞</li> <li>・所有形容詞前置形</li> <li>・名詞の数</li> <li>★ラテンアメリカの人種</li> </ul> パフォーマンス課題⑥「クラスメートのことを紹介しよう」	2学期期末テスト
1月 (3回) 2月 (2回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性格や容姿を表す形容詞</li> <li>・不規則動詞 TENER</li> </ul> パフォーマンス課題⑦「スペイン語で日本の有名人やアニメを紹介しよう」	

### ■単元指導案

1. 単元名：スペイン語で日本の有名人やアニメを紹介しよう

#### 2. 単元の目標

<p>新しい学習事項である不規則動詞 TENER と性格や容姿を表す形容詞、及び既習の語彙や表現を適切に活用して、スペイン語で日本の有名人などを紹介し合うことのできる能力の育成を目指す（話す）。また、スペイン語がインターネット上でも世界で広く使用されていることを認識し、同様のやり取りをインターネット上でできるようになることを目標とする（書く）。</p>		
<p>生きて働く 知識・技能の習得</p>	<p>未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力 の育成</p>	<p>学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養</p>
<p>① 不規則動詞 TENER の活用と使い方を理解する。</p> <p>② 性格や容姿を表す形容詞の意味と性数変化を理解する。</p> <p>③ キーボードでスペイン語の文章を書く（ñ の文字やアクセント及び記号を入力する）能力を身につける。</p>	<p>スペイン語で日本の人物等を紹介する目的や場面的に理解し、知識・技能で学んだことを状況に合わせて適切に活用しながら、話したり、書いたりして表現する力を養う。</p>	<p>スペイン語がインターネット上でも広く使用されていることを理解し、英語以外の言語によるコミュニケーションの可能性を認識する。</p> <p>自国の文化に対する理解を深め、尊重しながら、外国語を用いてそれらを主体的に発信しようとする態度を養う。</p>

#### 3. 社会と文化への気づきのポイント

自国の有名人やアニメをスペイン語で紹介することによって、英語圏以外の人々ともコミュニケーションを取ることの価値や、日本のサブカルチャーに対する海外からの評価を理解する。

また、インターネット上においてもスペイン語が世界で広く使用されていることを理解し、日本国内からでもスペイン語で意見や情報を発信できることを認識する。

#### 4. 他教科・他科目との連携

社会と情報：キーボードの使用法、世界におけるインターネット上のスペイン語の使用状況

#### 5. パフォーマンス課題：「スペイン語で紹介しよう日本の有名人やアニメを紹介しよう」

日本で活躍する有名人や、人気なアニメをスペイン語圏の人に紹介する。紹介の仕方は以下の2通り。

- ① 日本に住むメキシコ人の ALT に対して、口頭で日本の有名人を紹介する。【話す（発表）】

日本に住んで数年の Eli も、日本のテレビを見るとまだまだ知らない人がいるそうです。

あなたの一推しの人物をスペイン語で紹介しましょう。

- ② Twitter、Instagram、YouTube などの SNS を想定して、世界の人々に対して、PC 入力を用いて文章を書き、紹介する。【書く】

スペイン語はインターネット上では世界で2番目に使用されている言語です。PC でのスペイン語の入力を実際に用いて、あなたの好きなアニメをスペイン語で世界の人へ発信しましょう。

#### 6. 学習指導における具体的な評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性	
		主体的に 学びに取り組む態度	観点別学習状況や評定には示しきれない 一人ひとりの生徒の よい点・可能性・進歩の状況
⇒観点別学習状況評価			⇒個人内評価
① 不規則動詞 TENER の活用と使い方を理解できている。	スペイン語で人物紹介をする相手や、目的、手段を踏まえて、知識・技能で学んだことを状況に合わせて適切に活用して、相手にわかりやすく、話したり書いたりして表現できている。	スペイン語がインターネット上で広く使用されていることを理解し、実際の SNS 上でスペイン語が使用されている例を自ら探し出すことができる。 自国の文化についてよく調べ、学んだスペイン語を用いて、間違いを恐れずに相手に伝えようとしている。	自身のスペイン語学習を振り返り、スペイン語でコミュニケーションをする意義を見出している。 英語やスペイン語のみならず、他の言語への関心や気づきを持つことができる。
② 性格や容姿を表す形容詞の意味と性数変化を理解できている。			
③ キーボードでスペイン語の文章を書く（ñ の文字やアクセント及び記号を入力する）ことができる。			

#### 7. 単元の指導と評価の計画 ※（ ）は時間数

次	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
1(2)	不規則動詞 TENER の活用と用法を学ぶ。  容姿や性格を表す形容詞の意味と性数変化を学ぶ。	TENER 動詞を主語に合わせて適切に活用して使えている。 →【知識・技能①】  容姿や性格を表す形容詞を理解し、主語に合わせて適切に性数変化ができる。 →【知識・技能②】	口頭による活用の確認 →【知識・技能①】  口頭による形容詞の意味と活用の確認 →【知識・技能②】
2(2)	ALT に紹介したい日本の有名人、及び世界に紹介したい日本のアニメを決め、それらに関する情報を集める。  それらの人物等を紹介するために必要な表現や語彙を日本語及びスペイン語で確認する。	紹介する目的や相手を想定しながら、自国の有名人やアニメに関する必要な情報を集めようとしている。 →【主体的に取り組む態度】  これまで学んだ語彙や動詞・形容詞から紹介したい人物に合わせた適切な表現を使用し、活用できている。 →【思考力・判断力・表現力】	ワークシートの点検及び取り組み状況の確認 →【主体的に取り組む態度】  ワークシートの点検及び取り組み状況の確認 →【思考力・判断力・表現力】
3(2)	人物紹介の台本を作成する。  インターネット上におけるスペイン語の使用状況を確認し、実際の SNS 上での使用例を探す。	人物紹介をする相手や目的、手段を踏まえて、状況に合わせて適切にスペイン語を活用できている。 →【思考力・判断力・表現力】  インターネット上でのスペイン語の使用状況について理解し、実際の使用例を自ら探し出すことができている。 →【主体的に取り組む態度】	ワークシートの点検及び取り組み状況の確認 →【思考力・判断力・表現力】  記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動を確認する。 →【主体的に取り組む態度】
4(2)	キーボードによるスペイン語の ñ の文字やアクセント及び記号の入力方法を学ぶ。  パフォーマンス課題 (口頭による人物紹介と	キーボードによるスペイン語の ñ の文字やアクセント及び記号の入力ができる。 →【知識・技能③】  ⑩ 不規則動詞 TENER 及び性格や容姿を表す語を、適切に用	記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動を確認する。 →【知識・技能③】  ループリックによる評価 →【知識・技能①、②、③】

	PC 入力によるアニメ紹介)	<p>いて表現できている。 →【知識・技能①、②】 【思考力・判断力・表現力】</p> <p>⑩ 口頭での紹介において、間違いを恐れずに相手にわかりやすく伝えようとしている。 →【主体的に取り組む態度】</p> <p>⑩ PC 入力の紹介において、スペイン語のキーボード入力が適切にできている。 →【知識・技能③】</p>	<p>【思考力・判断力・表現力】 【主体的に取り組む態度】</p>
5(2)	<p>クラスメートが書き込んだ日本のアニメ紹介に関して、SNS 上を想定して PC 上でリアクションやコメントをし合う。</p> <p>パフォーマンス課題に関する達成状況を振り返る。</p>	<p>相手や手段に応じて、適切なスペイン語を用いてキーボード入力による表現ができている。 →【知識・技能③】 【思考力・表現力・判断力】</p> <p>自身の学習を振り返り、スペイン語学習の意義や自らの学習の課題を理解している。 → [個人内評価]</p>	<p>記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動を確認する。 →【知識・技能③】 【思考力・判断力・表現力】</p> <p>振り返りシートの点検及び取り組み状況の確認 → [個人内評価]</p>

#### 8. パフォーマンス課題の評価ルーブリック

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
a	TENER 動詞の活用や性格や容姿を表す形容詞をミスなく適切に活用できている。 また、口頭発表では正しい発音で流暢に、PC 入力ではアクセント符号等をミスなく適切に入力して人物紹介を行えている。	相手や、目的、手段を踏まえて、状況に合わせて、例となる文章に自分なりの表現を加えたり、必要であればジェスチャーを使ったりしてスペイン語で人物紹介ができる。	自国の文化について紹介のために十分な情報を調べている。 特に、スペイン語を話すときには間違いを恐れず、聞こえる声で、原稿を見ずに相手に伝えようとしている。
b	一部に誤りがあるが、TENER 動詞の活用や性格や容姿を表す形容詞を適切に活用できている。 また、口頭発表では理解に困ら	相手や、目的、手段を踏まえて、状況に合わせて、例となる文章の構成で、スペイン語で人物紹介ができる。	自国の文化について紹介のために最低限必要な情報を調べている。 特に、スペイン語を話すときには

	ない発音で、PC入力ではアクセント符号等のミスが一部あるものの理解に支障のないスペイン語で人物紹介を行えている		間違いを恐れず、聞こえる声で、一部原稿を見ながらであるが相手に伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

■本時の指導案

1. 本時の指導と評価の計画（2月1日 5、6校時）

分	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
5	挨拶、出席確認 本時の内容の説明	なし	なし
10	単元の目標の確認  パフォーマンス課題の ポイント確認	本単元の目標及びポイントを理解している。  パフォーマンス課題に必要な語彙・表現を理解している。→【知識・技能】	取り組み状況の確認
10	教師によるモデル提示 口頭発表前の台本確認 及び発音確認	発表のための事前準備ができているか。 疑問点がある場合、積極的に教師に確認しようとしているか。 →【主体的に取り組む態度】	ワークシートによる準備 状況の確認及び取り組み 状況の確認
20	パフォーマンス発表① (口頭による人物紹介)	評価用ルーブリック参照	ルーブリックによる評価 (録画し後日評価する)
10	休憩		
10	パフォーマンス発表① (口頭による人物紹介)  ALTによるスペイン語 圏の人物紹介 (※時間に余裕があれば)	評価用ルーブリック参照  なし	ルーブリックによる評価 (録画し後日評価する)  なし
10	アニメ紹介の文章確認	発表のための事前準備ができているか。 疑問点がある場合、積極的に教師に確認しようとしているか。 →【主体的に取り組む態度】	ワークシートによる準備 状況の確認及び取り組み 状況の確認
10	PCによるスペイン語入力 練習	キーボードによるスペイン語のñの文字 やアクセント及び記号の入力ができる。 →【知識・技能】	取り組み状況の確認

	Padlet の利用説明及び教師によるモデル表示	なし	なし
15	Padlet にスペイン語でアニメ紹介文を投稿する。	評価用ルーブリック参照	ルーブリックによる評価

## 2. 補足事項

・生徒用評価ルーブリック (パフォーマンス課題が2つあるため、課題ごとにルーブリックを用意した。)

### ①口頭の人物紹介 (ALT の先生に日本の有名人をスペイン語で紹介する)

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
a	①文法の正確さ TENER 動詞の活用や性格や容姿を表す形容詞等をミスなく適切に活用できている。 ②発音の正確さ 正しい発音で流暢に、発表が行えている。	発表の目的や相手、状況に合わせて、例となる文章に自分なりの表現を加えたり(9文以上)、必要であればジェスチャーを使ったりして、人物紹介ができる。	①準備状況 (ワークシート提出) 自国の文化について紹介のために十分な情報を調べている。 ②間違いを恐れない姿勢 間違いを恐れず、聞こえる声で、原稿を見ずに相手に伝えようとしている。
b	①文法の正確さ 一部に誤りがあるが、TENER 動詞の活用や性格や容姿を表す形容詞等を適切に活用できている。 ②発音の正確さ 理解に困らない発音で、発表が行えている。	発表の目的や相手、状況に合わせて、例となる文章の構成で(8文)、人物紹介ができる。	①準備状況 (ワークシート提出) 自国の文化について紹介のために最低限必要な情報を調べている。 ②間違いを恐れない姿勢 間違いを恐れず、聞こえる声で、一部原稿を見ながらであるが相手に伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

### ②PCのスペイン語入力におけるアニメ紹介 (SNS上を想定して世界の人に日本のアニメを紹介する)

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
--	-------	-------------	------------

a	①文法の正確さ TENER 動詞の活用や性格や容姿を表す形容詞等をミスなく適切に活用できている。 ②キーボード入力の正確さ アクセント符号等をミスなく適切に入力してアニメ紹介を行えている。	目的や相手、手段を踏まえて、状況に合わせて例となる文章に自分なりの表現を加えて(6文以上)、アニメ紹介ができています。	準備状況 (ワークシート提出) 自国の文化について紹介のために十分な情報を調べている。
b	①文法の正確さ 一部に誤りがあるが、TENER 動詞の活用や性格や容姿を表す形容詞等を適切に活用できている。 ②キーボード入力の正確さ アクセント符号等のミスが一部あるものの、理解に支障のないスペイン語でアニメ紹介を行えている。	目的や相手、手段を踏まえて、状況に合わせて例となる文章の構成で (5文)、アニメ紹介ができる。	準備状況 (ワークシート提出) 自国の文化について紹介のために最低限必要な情報を調べている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

#### ・備考

本単元では、人物の容姿や性格を新出の不規則動詞 TENER を用いて紹介できるようになることがねらいである。特に今回は「話す」「書く」の2つの技能を伸ばすことを目的としている。

教科書では、スペイン語圏の歴史上の偉人が紹介されており、そこでは「読む」という技能を用いて、スペイン語圏の歴史上の人物を知ることは可能である。しかし、日本で暮らす生徒たちには、より親近感を感じながらアウトプットする能力を伸ばして欲しいという思いから本単元では、「話す」と「書く」に焦点を当て、自国の有名人やアニメを紹介するというパフォーマンス課題を設定した。

一つ目の課題は、日本の有名人発表は、ALT に日本の有名人を「話して」紹介するものである。生徒たちにとって、最も身近なスペイン語話者はおそらく ALT である。そこで日常で話しやすいテーマとの関連を考え、今回は日本の歴史上の偉人の紹介ではなく TV に出ている有名人を紹介するという設定にしている。なお、紹介する人物は生徒に数人の有名人の候補を上げさせ、ALT に実際に知らない、もしくは見たことはあるが何者かわからない人物を選んでもらい、紹介する人物を決定した。

二つ目の課題は、日本のアニメや登場人物について、「書いて」インターネット上で世界の人に紹介するというものである。スペイン語は英語に続き SNS 上の使用言語として第2位の言語であるが、インターネット上でもスペイン語が広く使用されていることを知る機会になればと思いインターネット上のコミュニケーション場面に焦点を当てた。生徒たちにとっては YouTube, Facebook, Twitter, Instagram といった SNS の使用は日常的なことであるが、そこでは英語以外の言語を目にする機会もあるだろう。ま

た、インターネット上でスペイン語を使用するとなると、スペイン語の入力方法を知っておく必要がある。そこで、今回は SNS コンテンツを想定し、スペイン語で PC を用いて書くという課題を設定した。紹介内容は人物の容姿や性格の表現を使いやすく、世界の人に発信しやすいもの、という理由から日本のアニメにすることにした。

インターネット上のスペイン語コミュニケーションを模擬体験することにより、例えば日常生活においても、SNS 投稿の際に「# (ハッシュタグ)」でスペイン語の単語をつけてみる、You Tube のコメント欄にあるスペイン語や英語以外の他の言語にも目を向けるようになる、英語圏以外の情報にアクセスしようとする、といった態度を身につけることがねらいである。そして、日本に暮らしながらもスペイン語圏を身近に感じ、スペイン語を学習する意義を見出してほしいと考えている。

■授業の概要

1. 学校名：横浜市みなと総合高等学校
2. 科目名：中国語会話基礎
3. 単位数：2単位
4. 担当者：温 悠
5. クラスの構成：選択履修 高校1年生 6名(男0名・女6名)
6. 生徒の概況：中国語を4月から履修した生徒。履修理由は、中国のアイドルが好きだからや中国語を話せるようになりたい。中国語に興味があるなど比較的ポジティブなものが多い。他校の生徒や上海の姉妹校とオンライン交流が頻繁にある学習環境。取り組み状況はまじめでグループワークなどを行う。
7. 使用教科書：『新高校生版 中国語はじめの一步』白水社

■年間指導案

1. 年間目標：

<p>中国語を使って交流活動を行えるように、日常的な話題で必要とされる語彙・文法・発音の基礎をしっかりと身に付ける。</p> <p>* 社会的な言語活動のために、どのような言語材料を身に付けるか、という思考の流れ</p> <p>* 「願い」を先に考え、下を埋める</p>		
生きて働く 知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養
<p>交流するために必要な中国語の特徴や音声・語彙・文法・表現などを通して体験的に内容の理解を深める。</p> <p>聴くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーション場面・状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。中国語を用いて ICT の基本的活用ができる。</p>	<p>身近な話題について簡単な情報(好きなこと、映画やアイドルやアニメなどの話題)をやりとりできる。自分の中国語力に応じた言語活動を考え想定し話せる。</p>	<p>言語運用能力を高めるための工夫をしようとする。自己評価・相互評価をして、振り返りを行い、課題をさらに工夫・改善しようとする。ICTをもちいて言語活動の高度化について考えられる(やりとり、発表)。</p>

2. 単元構成：

月	単元名	備考

4~5月	中国語の発音を学ぼう 中国語の文法表現を知ろう	ピンイン あいさつ
6月	自分の名前を中国語で言えるようになろう	
7~11月	自己紹介を中国語でしてみよう 自分のことを伝える動画をつくろう 上海姉妹校交流「日本と中国の伝統文化を知ろう」	オンライン交流 動画づくり
12~3月	今したいことや行きたいところ、今週や来週、今日の自分の予定を伝えてみよう。相手にすきなことはなにか聞いてみよう。	

### ■単元指導案

1. 単元名 中国の学校との交流会後のシェア会をするために自分のことを紹介する動画をオンライン交流前に作ってみよう

#### 2. 単元の目標

動画を撮影して自分の好きなことを中国語で紹介しよう。 正確ではっきりした発音で発表しよう。中国語の基本的な文の構造を理解しよう。		
生きて働く 知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養
交流するために既習語彙・文法の語順を正しく理解し（聞く、読む、書く）、発話意図にあった表現を使って正確に発音することができる。中国語で ICT を活用できる。	テーマや話題から情報や自分の考えを整理し、中国語を用いてペアやグループワークで相互に質問をし、話しあえる。自分で作成したメモなどを活用し、相手にテーマについてわかりやすく伝えられる。誤りにも気がつけ自分で訂正できる。	基本的な発音・語彙・聞き取りや文法の到達度を、教員との面談や生徒間の相互評価で振り返りを行うことができる。ICT（動画作成や zoom 交流など）活用時、自分の課題に工夫して対応したり、主体的に取り組もうとしている。

#### 3. 社会と文化への気づきのポイント

1. 日本の中国語履修者との発表内容について意見交換や感想を話しあう交流を通じて、自分が作った中国語の文章を振り返れる。
2. 作成した動画のテーマから、製作者の中国語や中国の世界観を知る。
3. いろいろな日本人の中国語の発音を耳にし、さまざまな中国語の発音に触れ、多様性に気が付ける。

#### 4. 他教科・他科目との連携

なし

#### 5. パフォーマンス課題

立命館宇治高校のと交流を深めるために、学んだ中国語を使って動画で自分の好きなことを紹介してみよう。

よう

## 6. 学習指導における具体的な評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性	
		主体的に 学習に取り組む態度	観点別状況評価や評定には示しきれない 一人ひとりの生徒の よい点・可能性・進歩の状況
⇒観点別学習状況評価			⇒個人内評価
学んだ中国語の単語、発音、語順を正しく使えている。相手の中国語を聞いたり返事することができる。ICTの基本的活用（チャット入力・動画作成）方法を整理できて使える。	文法、語順を正確に用いて、自分の意図を相手にわかりやすく伝えることができる。やりとりの中で、自分や相手の表現（発音、文法）の間違いに気が付くことができる。	課題を十分に理解しようとする。相手の背景を理解し、相手にわかりやすく、自分の考えを伝えようとする。相手の話す中国語を聞き取れる。どのように課題に取り組んだか、相互評価で振り返れる。ICT（動画作成やzoom交流）活用時、自分の課題に工夫し主体的に取り組もうとしている。	いくつか作成している動画から好きなものを選ぶことができる。自分が好きなものをどのように動画に活用したか。気に入ったカットはどんな所か選び説明できる。中国語でICTを学び活かすことの意義、楽しいところなどを言える。

## 7. 単元の指導と評価の計画

次	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
1	基本的な中国語文法を復習し自己紹介文を作り、上海の交流相手に発表する。	自己紹介文を作成時、第1課～第6課の文法事項を相手にわかりやすく伝えるツールとして使える。	記録に残す評価は行わないが狙いに即して生徒の活動に助言する。
2	動画を作成するための動画を一人一つ探しGoogleクラスルームでシェアしよう	課題を十分に理解していることをしめすコンテンツを探せる。	記録に残す評価は行わないが狙いに即して生徒の活動に助言する。
3	「動画を作るための動画」を短めものを授業で一つ見よう。	ICTの基本的活用（動画作成）方法を整理できる。	記録に残す評価は行わないが狙いに即して生徒の活動に助言する。
4	自己紹介として作った文章を発音練習する。動画の試し撮りをしてみよう。	相手の背景を理解し、相手にわかりやすく自分の考えを伝えられる動画をとれる。	記録に残す評価は行わないが狙いに即して生徒の活動に助言する。
5	上海交流相手に発表した自己紹介文を動画用にどのように入れるか考えよう。	動画内で学んだ中国語の単語・発音・語順を正しく使える。	小テスト（記録に残す評価）
6	動画作成に必要な動画デザイン	課題を十分に理解できる。	相互評価一番気にいった試作動

	ンを考えよう。 ⇒試作動画は各自で数個作成しよう		画を選ぶ。(記録に残す課題)
7	動画内の自己紹介の中国語の発音を確認。字幕や音楽入れをしよう。	学んだ中国語の単語・発音・語順を正しく使える。	小テスト (記録に残す評価)
8	クラス内で完成動画の鑑賞会と発表会をしよう。	文法・語順を正しく用いて自分の意図をわかりやすく伝えられる。	相互評価気に入ったカットを選ぶ。(記録に残す評価)
9 本 次	<u>立命館宇治高校と交流会で上海の高校生とオンライン交流会の振り返り、自分の発表について説明できる。</u>	<u>よかった点・改善点発表できる。</u>	<u>自己評価表の記入。</u>
10	立命館宇治との交流を踏まえ、自己紹介文をもう一度書き直してみよう。	自己紹介文をどのように改善したか説明ができる。	発表 (記録に残さない評価)

8 パフォーマンス課題の評価ルーブリック

中国語基礎ルーブリック評価・自己紹介動画の評価

	A	B	C
発音【知・技】	声母・韻母・声調どれも正確に発音できている	声母・韻母・声調、一部正確に発音できていない	大半の発音が正しくない
文法【知・技】	発表文の文法がすべて正しく使われている	文法が一部間違えて使われている	文法が正しく使われていない
内容【思・判・表】	自己紹介の情報の意図が十分にわかりやすい	自己紹介の情報の意図がややわかりにくい	自己紹介の情報の意図が全く伝わらない
技術の活用【主】	聴衆がわかりやすいように編集できている	聴衆理解しにくいところが一部含まれている	聴衆が意図を理解しにくい

■本時の指導案

1. 本時の指導と評価の計画 実施日：2022年12月1日(木)

分	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
10	11:40 オンライン開始		
1	11:50 スタート		
	① 交流の趣旨説明 (教員)	中国語で名前・学年・趣味・家族のことなど正確に伝えられるか (日本語使用可) 正しい中国語を言えているか	チェックシート記入 行動観察
10	自己紹介 (生徒)		

	立命館生徒（5名） みなと総合生徒（6名）	相手に伝わるようにいえるか	
15	各校の生徒の②中国人との交流時のエピソードや感想について話す 各校代表者1か2名発言	交流時のよかった点などを伝える。 動画から聞き取れた中国語を互いに伝えられるか。 メモに記入できるか	動画作成→ループリック評価 自己評価→シートに記入
4 2 8	相手の発言をメモで書き出す 時間がある際は筆問を行う。 お別れの挨拶をし オフライン 生徒と感想を話し 振り返りシート記入	中国語を正確に話せるか	相手の話す中国語を聞き取れているか行動観察(記録に残さない評価) シートに記入

## 2. 補足事項

① 2022年12月1日（木）オンライン交流時間：11時50分～12時20分立命館宇治高等学校の三年生の中国語有志5名と交流会を開催しました。

立命館宇治、みなと総合の各生徒は11月に中国の高校生とzoom交流を行っており、中国の高校生とのやり取りや交流会の感想について振り返り交流しようという趣旨で今回の交流が実現しました。

その事前交流として、立命館宇治高等学校中国語履修者三年有志とみなと総合の中国語履修者一年6名とで自己紹介や学校紹介の動画を作りパドレット上で事前交流をしました。動画は自分のことや日常について紹介したものです。パドレットで相互評価を行いました。

事前交流パドレットアドレス【 <https://padlet.com/yshare273508/o1lieth2t7juc0h3> 】

作成物へコメントを入れ相互評価を行いました。

② 2022年11月26日（土）オンライン交流時間 20:00より一時間 みなと総合の中国語会話基礎クラスの生徒は、中国の高校生との合同交流会に参加しました。

中国上海の高校三校と横浜市立南高校と5校合同交流をし、この交流会の共通言語は中国語と日本語でした。発表はみな日本語で行われましたが、英語・中国語・日本語で交流しました。

藤沢総合高等学校 スペイン語発展 学習指導案

授業実施日：令和4年11月17日（木）11月18日（金）4校時

授業実施者：奥村サラ、佐々木 亮太、亀井 彩香

■授業の概要

1. 学校名：神奈川県立藤沢総合高等学校
2. 科目名：スペイン語発展
3. 単位数：2単位（半期週4時間）
4. 担当者：奥村サラ、小関啓子、亀井 彩香、佐々木亮太
5. クラスの構成：高校2・3年生 6名(男1名・女5名) 高校3年生 15名(男子4名・女子11名)
6. 生徒の概況：少人数講座でスペイン語への学習意欲が高い。
7. 使用教科書：『Gramañol ー文法中心スペイン語総合学習教本ー』 朝日出版（2018）

■年間指導案

1. 年間目標：

スペイン語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、スペイン語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目標とする。また、スペイン語の背景にある文化やスペイン語圏の人々の暮らしについて学び、日本及び英語圏の国の文化や社会を理解する。		
生きて働く 知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペイン語の音声と発音</li> <li>・スペイン語の符号と記号</li> <li>・日時、数字、色など日常生活に必要なものの表現。</li> <li>・自分の伝えたいことや書きたいことが表現できるための基本動詞と現在時制の文法規則の習得。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・技能の習得で学習した内容を用い、日常的なテーマについて特に話すこと、書くこと、聞くことできる。</li> <li>・知識・技能の習得で学習した内容をほかの要素と結び付けさまざまな場面に応じて、特に話す表現、書く表現を作ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的かつ応用的にスペイン語を用いる各単元でのパフォーマンス課題への取り組みとその振り返りから得る生徒自身の成長の自覚と次回へ向けての課題の探究ができる。</li> <li>スペイン語圏の文化や言語の特色に触れ、現在の生活との比較及び分析をすることで自身の生活に生かす力の涵養が実感できる。</li> </ul>

2. 単元構成：

月	単元名（教科書該当レッスン）	学習内容
10月	○現在の動作を表現しよう（復習）！ （Lección5 君は一人で住んでいるよね？） ○存在と時刻の表現をしよう！ Lección7 トイレはどこにありますか？	一般動詞（復習） Estar 動詞、疑問詞 Lección5 Lección7
11月	○便利な表現を使ってみよう！ （Lección10 アスピリンはありますか？） （Lección8 コーヒーを飲みましょう！） △実技テスト：～する予定、～でいく、～したい Lección9 カードで払えますか？	ir 動詞 tener 動詞 querer 動詞 Lección10、Lección8 poder 動詞
12月	◇パフォーマンス課題①：スペイン語圏の国々を紹介するVTRを作ろう！	Lección9
1月	日常の様々な場面での表現を使ってみよう！ パフォーマンス課題②：設定された状況で寸劇を発表しよう！	病院、空港、買い物の中での 会話表現
2月	日常の様々な場面での表現を使ってみよう！2 パフォーマンス課題③：設定された状況で寸劇を発表しよう！	もしスペインに留学時に使用 できる表現。 日常の読み物を読んでみよ う。

■単元指導案

1. 単元名 便利な表現を使ってみよう！（12月実施）

2. 単元の目標

<p>いままで学習してきた表現（ir, tener, querer, poder とその他の規則変化動詞の現在形と ser 動詞など）を活かし、前期に実施したスペイン語圏の国調べの発表を YouTube 番組形式にして小グループでスペイン語圏の国々の紹介をスペイン語で行うことができる。また番組制作の過程で調べたスペイン語圏の国々の文化・生き方について知り、日本との違いを探究することに異文化理解を深める。設定をスペイン語圏に旅行に行きたい日本人のための動画とし、視聴者に対して工夫された表現（話すこと）を通すことで動画を通じたコミュニケーション態度を養う。</p>		
<p>生きて働く 知識・技能の習得</p>	<p>未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成</p>	<p>学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>一般動詞の使い方と表現方法を理解することができる</li> <li>ir, tener, querer, poder の使い方と表現方法を理解することができる</li> <li>スペイン語圏の国々の特徴を調べて、より深く知ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国を紹介する際のスペイン語での表現を自分で思考し、使用場面に合わせて書くことができる。</li> <li>国の紹介をする動画作成を通して、スペイン語で話すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動画という媒体を通して、見ている相手に伝えるコミュニケーション態度を養う。動画を通しての表現や構成の工夫及び伝える方法を考え実行することができる。</li> <li>スペイン語圏の国々の人々の文化や特徴を理解し、自身の生活と比較し、今後に生かすことができる。</li> <li>失敗を恐れずとにかく粘り強くスペイン語を使用する態度を身に付けることができる。</li> </ul>

### 3. 社会と文化への気づきのポイント

今回はスペイン語圏の国調べを行うことで日本国との比較や違いを発見し、他国の人々の生き方を感じ取ることができる。また紹介されたスペイン語圏の国々に将来行ってみたいと思うきっかけとしたい。

### 4. 他教科・他科目との連携

産業社会と人間、課題研究Ⅱ、課題研究Ⅲ、地理総合

### 5. パフォーマンス課題

「スペイン語圏の国で紹介するVTRを作ってみよう！」

今回スペイン語に興味がある日本人の視聴者を想定して、旅行にいくべきスペイン語圏の国をスペイン語で紹介し、その後追加情報を日本語で説明する動画を撮影する。

2分以内の動画をペアで作成し、上映会を行い相互評価を実施する。

評価対象領域【①話すこと（発表）・②書くこと】の3領域

作成者の任意で入れています

### 6. 学習指導における具体的な評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性	
		主体的に 学びに取り組む態度	観点別状況評価や評定には示しきれない 一人ひとりの生徒の よい点・可能性・進歩の状況
⇒観点別学習状況評価		⇒個人内評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>一般動詞の使い方と表現方法を理解することができた。</li> <li>tener, poder, irの使い方と表現方法を理解することができた。</li> <li>スペイン語圏の国々の特徴を調べて、より深く知ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国を紹介する際のスペイン語での表現を自分で書く③ことができた。</li> <li>国の紹介を実際に撮影で実施し、話す①ことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動画という媒体を通して、見ている相手に伝えるコミュニケーション態度を養う。動画を通しての表現や構成の工夫及び伝える方法を考え実行することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スペイン語圏の国々の人々の文化や特徴を理解し、自身の生活と比較し、今後に生かすことができた。（課題前シート及び振り返りシート）</li> <li>失敗を恐れずとにかく粘り強くスペイン語を使用する態度を身に付けることができた。（課題前シート及び振り返りシート）</li> </ul>

7. 単元の指導と評価の計画 (※)は時間数

次	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
1 (3)	前期に学習した一般動詞の現在形の復習をする。 ir 動詞の活用を知り、使用する。 ir 動詞の様々な表現を知り、使用する。	一般動詞の活用が習得できている。 【知識・技能】 ir 動詞を適切な形で使い分けことができる。【知識・技能】 ir 動詞を場面に合わせて表現を変更することができる。【思考・判断・表現】	小テスト【知識・技能】(後日) 実技テスト【思考・判断・表現】(3次に実施)
2 (3)	tener 動詞の活用を知り、使用する。 tener 動詞の様々な表現を知り、使用する。	tener 動詞を適切な形で使い分けことができる。【知識・技能】 tener 動詞を場面に合わせて表現を変更することができる。【思考・判断・表現】	小テスト【知識・技能】(後日) 実技テスト【思考・判断・表現】(3次に実施)
3 (4)	querer 動詞の活用を知り、使用する。 querer 動詞の様々な表現を知り、使用する。	querer 動詞を適切な形で使い分けことができる。【知識・技能】 querer 動詞を場面に合わせて表現を変更することができる。【思考・判断・表現】	小テスト【知識・技能】(後日) 実技テスト【思考・判断・表現】
4 (3)	poder 動詞の活用を知り、使用する。 poder 動詞の表現を知り、使用する。	poder 動詞を適切な形で使い分けことができる。【知識・技能】 poder 動詞を場面に合わせて表現を変更することができる。【思考・判断・表現】	小テスト【知識・技能】(4次内実施)
5 (4)	パフォーマンス課題の作成と発表(視聴)	小グループによるスペイン語圏の国々を紹介するVTRを作成し、作成後は全員で視聴する。 評価規準については下記ループリック参照	パフォーマンス課題 【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習する態度】

## ■本時の指導案

### 1. 本時の指導と評価の計画（3次第3時間目）

分	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
5	あいさつ 出席確認 本時の目標の確認	なし	なし
30	プレゼンテーションの準備	【主体的に学習に取り組む態度】  【思考力・判断力・表現力】	・形成的評価（記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動を確認する）
10	プレゼン内容の発音練習 (終わっていない人は準備を継続する)	【主体的に学習に取り組む態度】  【思考力・判断力・表現力】	・形成的評価（記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動を確認する）
5	本時のまとめ 次回の内容の確認	なし	なし

### 2. 補足事項

実技テスト ルーブリック

評価／観点	スペイン語の音声 【知識・技能】 [話すこと] [書くこと]	内容の工夫と表現 【思考・判断・表現】 [話すこと]	作成に係る取組姿勢と新たな気づき、振り返り 【主体的に学習に取り組む態度】
A	発表内容が提出までにミスなく書くことができる。アクセントや冠詞のミスが全くなく発表できる。	話すときに、相手に情報や意図が伝わるように発表できる。	自身で話すこと・書くことの表現を作り出す活動に主体的に取り組み、発表に向けて準備がなされ、振り返りに気づきや課題が見出されている。
B	発表内容がある程度書くことができる。アクセントや冠詞のミスが発表時にある。	話すときに、原稿を確認することがあるが、発表することができる。	自身で話すこと・書くことの表現を作り出す活動に取り組むことができ、自身の振り返りが書かれている。
C	「B」を満たしていない。	「B」を満たしていない。	「B」を満たしていない。

**【補足】**

前期にスペイン語入門でスペイン語の特徴や基礎知識を学び土台ができている生徒たちに対し、複合的な表現方法を人に伝える状況下でどのようにうまく活用するかというのが本単元のねらいである。規則動詞の現在形については前期に既習済みで今回は表現の幅が広がる不規則変化動詞である *ir*, *tener*, *querer*, *poder* を中心に動画を作成する活動を通して活用をしていくことになる。また既習事項の *-ar*, *-er*, *ir* 動詞や *estar* 動詞、*ser* 動詞も活動の中に取り入れることができ、スペイン語の表現（特に話すこと）の能力を高める活動となっている。また、昨今の社会事情で動画を作成し、閲覧する機会が高校生にも身近になったことから動画を作成してみる経験や他者が作成した動画の視聴態度等も考えてほしいという願いがある。

■授業の概要

1. 学校名：神奈川県立藤沢総合高等学校
2. 科目名：中国語発展（後期のみ2単位）
3. 単位数：後期のみ2単位（50分×週4時間）
4. 担当者：潮田 央（+ALT週3時間）
5. クラスの構成：高校2、3次年 16名
6. 生徒の概況：全員が中国語入門（2単位）を履修済み。
7. 使用教科書：『標準高校中国語』第三版（白帝社、2016）
8. 研究授業の日時：令和4年11月17日（木）4時間目（12:55～13:45）

■年間指導案

1. 年間目標：

中国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、中国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図り、中国語の特性及びその背景にある文化や社会、中国語を使用する人々の考え方や価値観に関心を持ち、日本語圏、中国語圏、英語圏等の文化や社会を理解する。		
生きて働く 知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養
中国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	中国語でコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、中国語で簡単な情報や考えなどを聞いたり読み取ったり、これらを活用して話したり、書いたり、伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養い、中国語の特性や考え方、価値観に関心を持ち、日本語圏、中国語圏、英語圏等の文化や社会を理解する。

2. 単元構成：

月	単元名	備考
4 ・ 5 月	中国語で挨拶して名刺交換しよう	挨拶して名前や国籍を言う（会話、ピンインの読み方、発音）

6月	教室のなかのものを言い当ててみよう	物当てクイズ（疑問詞）
7月	買い物してみよう	買い物のロールプレイ（会話、数字の学習）
8・9月	自己紹介カードを作ってみよう	既習事項を使った、自己紹介カードの作成（挨拶、名前、住んでいる場所）
10月	①朗読大会に参加しよう ②誕生日あてゲーム	①漢詩を使った朗読大会（発音の総復習） ②数字、年月日、週の言い方
11月	中国の高校生の一日を紹介しよう	動画のアップ（ピンインの入力、時間詞、動作）
12月	ビデオレターで文通しよう	ビデオ撮影（観光地の情報、交通機関、金額、所要時間の言い方）
1月	無くしたものを探してみよう（先週一週間のできごとを確認しよう）	スケジュール帳の記入（過去の表現、補語）
2・3月	将来の自分に手紙を書こう	手紙の表現方法、時制表現、補語

## ■単元指導案

### 1. 単元名 中国の高校生の一日を紹介しよう

### 2. 単元の目標

中国の高校生の一日を紹介するために、スケジュールについての文を読んだり、趣味や活動についての紹介の仕方を整理し、簡単な語句や文章を用いて、動画サイトにアップする文章を書いたりすることができる。		
生きて働く 知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養
・活動や行動について、動詞・目的語を使う文の構造を理解する。 ・時間詞を用いた文の構造を理解する。 ・「中国の高校生の一日」動画を作成する際に、活動や行動について、動詞・目的語文や時間詞を使った文を用いて書く技能を身に付ける。	・「中国の高校生の一日」動画を作成するために、例となる文章をもとに、調査した有名人のことを表にしてあらわし、考えたことや感じたことを整理し、簡単な語句や文を用いてまとめ	・中国の高校生の一日を紹介するために、例となるスケジュールについての文をもとに、趣味や活動についての紹介の仕方を整理し、簡単な語句や文章を用いて、動画サイトにアップする文章を書き、

・動画サイトにアップするために、P Cで中国語を入力（ピンインや音声入力等）する技能を身に付ける。	のある文をP Cで書き、動画を撮影することができる。（書くこと）	自分の考えを粘り強く中国語で表現し、自らの学習を調整しようとする。
---	----------------------------------	-----------------------------------

### 3. 社会と文化への気づきのポイント

- ・日本と中国の高校生の一日のスケジュールを比較する。
- ・中国語圏における動画での字幕の役割を理解する。

### 4. 他教科・他科目との連携

#### ○1年次

- ・社会と情報… キーボードの使用法
- ・国語総合（旧カリ） … 「自己紹介をしよう」目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりする。（話す・聞く力）
- ・産業社会と人間 … 「他者とのかかわり方を考える」職業人インタビュー

#### ○2、3年次

- ・スペイン語入門・発展 … 「スピーチ」（初習外国語を用いた発表で用いられる表現）
- ・総合的な探究の時間（課題研究）

本校は総合学科であるため、発表活動に力を入れており、どの科目でも発表の機会を多く設定している。とくに、「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」は基幹科目であり、学習活動の総まとめの科目であり、発表に関する学習で身に付いた力を試す場となっている。

### 5. パフォーマンス課題

中国の高校生の一日を紹介するために、その人物の一日のスケジュールや、趣味・活動について紹介する動画を作成し、字幕を付し、動画サイトにアップする。

### 6. 学習指導における具体的な評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性	
		主体的に学習に取り組む態度	観点別状況評価や評定には示しきれない 一人ひとりの生徒のよい点・可能性・進歩の状況
⇒観点別学習状況評価			⇒個人内評価
・活動や行動について、動詞・目的語を使う文の構造を理解している。 ・時間詞を用いた文の構造を	・「中国の高校生の一日常」を紹介する動画を作成するために、例となる文章をもとに、調	・「中国の高校生の一日常」を紹介するために、例となるスケジュールについての文をもと	・中国語における文字の役割。 ・生活習慣の違い。 ・中国語圏における現

<p>理解している。</p> <p>・「中国の高校生の一日」動画を作成する際に、活動や行動について、動詞・目的語文や時間詞を使った文を用いて書く技能を身に付けている。</p> <p>・動画サイトにアップするために、PCで中国語を入力(ピンインや音声入力等)する技能を身に付けている。</p>	<p>査した有名人のことを表にしてあらわし、考えたことや感じたことを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文をPCで書き、動画を撮影している。(書くこと)</p>	<p>に、活動についての紹介の仕方を整理し、簡単な語句や文章を用いて、動画サイトにアップする文章を書き、自分の考えを粘り強く中国語で表現し、自らの学習を調整しようとしている。</p>	<p>代的な動画サイトの扱い。</p>
---	--	---	---------------------

## 7. 単元の指導と評価の計画

次	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
1	<p>・「中国の高校生の一日を紹介しよう」動画を見て、単元の目標を理解する。</p> <p>・趣味や好きなことを表現するために、動作についての単語やその決まりを理解する。</p> <p>・教科書の文を使って、人物が何をしているか伝え合う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・動作に関する語彙や表現(趣味の聞き方、動作の表現、それらの文法的なきまり)を理解している。</p>	<p>・ペーパーテストによる確認(6次)</p> <p>→【知識・技能】</p>
2	<p>・教科書やプリントの絵を見て、人物が何をしているかペアで伝え合う。</p>	<p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>・動作に関する語彙や表現(趣味の聞き方、動作の表現、それらの文法的なきまり)を理解し、口頭で表現している。</p>	<p>(記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動を確認する)</p>
3	<p>・好きなこと、動作を表現する単語やきまりについて口頭で知識・技能を確認する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・活動や行動について、動詞・目的語を使う文の構造を理解している。</p> <p>・PCで中国語を入力する技能を身に付けている。</p>	<p>・口頭での確認(4次)</p> <p>→【知識・技能】</p> <p>・振り返りの記述の分析</p> <p>→【主体的に学習に取り組む態度】</p>
4	<p>・教科書を用いて、数字についての表現を復習し、時間表現についての特徴やきまりを理解する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・時間詞を用いた文の構造を理解している。</p>	<p>・ペーパーテストによる確認(6次)</p> <p>→【知識・技能】</p>
5	<p>・中国の典型的な高校生の一日のスケジュールの表を見て、Google</p>	<p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>・一日のスケジュールについて</p>	<p>・Google Jamboardの記述の観察、確認</p>

	Jamboard を使って整理する。	て、考えたことや感じたことを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。	→【思考力・判断力・表現力】
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中国の高校生の一日を紹介しよう」動画を撮影し、動画の字幕を作成する。</li> <li>・撮影した動画をクラス内での閲覧に限定した Google サイトにアップする。</li> </ul>	<b>【思考力・判断力・表現力】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中国の高校生の一日を紹介しよう」動画を作成し、動画を撮影している。</li> </ul>	(記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動を確認する)
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの動画を見て、GoogleForms に内容についてコメントし、評価を投票する。</li> <li>・パフォーマンス課題についての達成状況を振り返り、自己の課題を明確にする。</li> </ul>	<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国の高校生の一日を紹介するために、スケジュールについての文を読んだり、趣味や活動についての紹介の仕方を整理し、簡単な語句や文章を用いて、動画サイトにアップする文章を書いたりして、自分の考えを粘り強く中国語で表現し、自らの学習を調整しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画の視聴による行動の確認</li> </ul> →【知識・技能】 →【思考力・判断力・表現力】 →【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの記述の分析</li> </ul> →【主体的に学習に取り組む態度】

## 8. 本時の指導案

### 1) 本時の指導と評価の計画

分	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
導入 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の目標を確認する。</li> <li>・日付、曜日、現在の時間を中国語で表現する。</li> <li>・前回の復習をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の時間で、参加する生徒全員が中国語で話せるように指名する。</li> </ul>	
展開 ① 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵を見て、書かれていることを中国語で入力し、Gogle Jamboard で整理する。</li> <li>・周囲の生徒と内容を確認し、口頭で発表す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Gogle Jamboard は、Google Classroom を用いて、事前に配信する。</li> <li>・ピンインによる入力を行い、ピンインがわからない語はすぐに検索するよう呼びかける。</li> </ul>	<b>【思考力・判断力・表現力】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵の内容を理解し、簡単な語句や文を用いて説明する文章を書いている。</li> </ul> → Google Jamboard の記述の観察

	る。		
展 開 ② 20	・中国の典型的な高校生の一日のスケジュールの表を見て、Google Jamboard を使って整理する。 ・周囲の生徒と内容を確認し、口頭で発表する。	・表に使用されている内容を見て、新しく単語を調べるのではなく、既習事項によって表現するよう注意する。 ・時間表現における、「小时」と「点」の使用法に注意スケジュールと比較させる。	【思考力・判断力・表現力】 ・一日のスケジュールについて、考えたことや感じたことを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。 → <u>Google Jamboard</u> の記述の確認
ま と め 10	・本日の学習の内容を、目的に即して振り返る。 ・日本と中国の生活習慣の違いについて考える。	・感想を含めて、Google ドキュメントに記入し、Google Classroom によって提出する。	

## 2) ルーブリック

### ・ルーブリック①

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	動画を作成する際に、活動や行動について、動詞・目的語文や時間詞を使った文を用いて書く技能を <b>高水準</b> で身に付けている。	動画を作成するために、例となる文章をもとに、調査した有名人のことを表にしてあらわし、考えたことや感じたことを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文をPCによって <b>高水準</b> で書き、動画を撮影している。	中国の高校生の一日を紹介するために、例となるスケジュールについての文をもとに、活動についての紹介の仕方を整理し、簡単な語句や文章を用いて、動画サイトにアップする文章を <b>高水準</b> で書き、自分の考えを <b>粘り強く</b> 中国語で表現し、自らの学習を調整しようとしている。
b	動画を作成する際に、活動や行動について、動詞・目的語文や時間詞を使った文を用いて書く技能を <b>概ね</b> 身に付けている。	動画を作成するために、例となる文章をもとに、調査した有名人のことを表にしてあらわし、考えたことや感じたことを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文をPCで <b>概ね正しく</b> 書くことができ、動画を撮影している。	中国の高校生の一日を紹介するために、例となるスケジュールについての文をもとに、活動についての紹介の仕方を整理し、簡単な語句や文章を用いて、動画サイトにアップする文章を <b>概ね正しく</b> 書き、自分の考えを中国語で表現し、自らの学習を調整しようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

・ルーブリック②

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
a	動画を作成する際に、活動や行動について、動詞・目的語文や時間詞を使って <b>適切</b> に文章を書いている。	動画を作成し、 <b>適切な</b> 表記で字幕を付している。	動画を作成するために、中国の高校生の一日を文章にあらわし、考えたことや感じたことを <b>わかりやすく</b> 整理している。	動画を作成するために、 <b>わかりやすい</b> 語句によって書き、撮影している。	中国の高校生の一日を紹介するために、例となるスケジュールについての文をもとに、活動についての紹介の仕方を整理し、簡単な語句や文章を用いて、動画サイトにアップする文章を <b>高水準</b> で書き、自分の考えを <b>粘り強く</b> 中国語で表現し、自らの学習を調整しようとしている。
b	動画を作成する際に、活動や行動について、動詞・目的語文や時間詞を使って <b>概ね正</b> しく文章を書いている。	動画を作成し、 <b>概ね正</b> しい表記で字幕を付している。	動画を作成するために、中国の高校生の一日を文章にあらわし、考えたことや感じたことを整理している。	動画を作成するために、語句を選んで書き、撮影している。	中国の高校生の一日を紹介するために、例となるスケジュールについての文をもとに、活動についての紹介の仕方を整理し、簡単な語句や文章を用いて、動画サイトにアップする文章を <b>概ね正</b> しく書き、自分の考えを中国語で表現し、自らの学習を調整しようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

9. 補足事項

本単元は、5領域の「書く力」を伸ばすことを目的とし、中国の高校生の一日を紹介するために、一日のスケジュールや、活動について紹介する動画を作成し、字幕を付し、動画サイトにアップするパフォーマンス課題を中心とした単元である。

日本を含めた世界を席巻する「TikTok」は、もともと**抖音** (Dǒu yīn) という中国のSNSサービスの国際版であった。視聴者の好みに合わせた短い動画を簡単に選択でき、また著作権のクリアしたBGMを、自分のアップした動画に付け、自由に編集できることから、若年層を中心に人気広がっている。現在の高校生のほとんどが利用しており、動画をアップしたことのある生徒も少なくなく、受信・発信の双方を兼ね備えた人気サービスである。今回の単元では、架空ではあるが、学んだ中国語を使ってこの動画サイトにアップするというを行う。

Youtube や Instagram も含め、自分で作成した動画を編集し、SNS にアップすることは高校生にとって日常的なことである。もちろん、SNS 上でのトラブルも少なからず生じているため、情報の授業をはじめ、学校教育の中ではくり返しその使用法について注意を呼び掛けている。今回の単元でも、さすがにTikTok そのものにアップはせず、クラス内での閲覧に限定したGoogleサイトにアップする。架空のものではあるが生徒は自分のスマホでも視聴でき、GoogleForms を使って評価したりコメントしたりできるようにしているため、多少なりとも生徒の日常に近いものとなるだろう。同時に、生徒の状況によってはTikTok にはアップしないことを指導することも求められるだろう。

アップする内容は、中国の高校生の一日の紹介文である。オーセンティシティーを担保するため、ある中国人の、高校生の頃のスケジュールをもとに表を作成した。実際の授業では、これら人物の顔写真や簡単なプロフィールも紹介した。この表（スケジュール）に基づき、中国語で紹介できるように文章を書く。そのために、活動や行動を表現するのに必要な、動詞・目的語文や時間詞を学ぶ。基本的なスケジュールは、朝起きてから夜寝るまでの間であり、「何時に何をした」という文章となる。「何をした」というところは、既習事項によって考え、わからないところについては、翻訳アプリを使って書いたり、または自らの語彙に基づいて言い換えたり、あえて書かなかったりするようにさせたいと考えている。今回は「書くこと」が目標であるため、先に原稿を兼ねた字幕を付けることを重要視したい。

中国語圏では、テレビのニュースやドラマ、ケータイで見るとような動画には、多く字幕が付されている。ヨーロッパの面積に匹敵する、広大な国土を持つ国家であり、当然多くの方言があるが、音声的な差異があっても、「漢字」があるために、文章であれば比較的容易にどの地域でも意思疎通が図れる。普通話話すことが苦手な人であっても、文章で書かれれば内容がわかることもある。そのため、映像、動画には字幕が付されるのである。そうした中国語圏の事情を理解し、多様性の一環を覗き見るためにも、授業では字幕の重要性についても考える機会を設定している。

PCの機能の理解にもつながるため、字幕作成には様々な方法を取りたい。まず、ピンイン入力を行う。Windowsでは中国語入力の入力方式としてピンイン入力がある。PCで一般的に利用されているので、予想変換も含めて入力方法を学ぶことは、社会生活のなかで中国語を使う際に役立つだろう。次に、音声入力を試したい。自動翻訳機や翻訳サイトでも、音声入力ができるものは数多い。また、正解が出るまで正しい発音に近づけることは発音の練習にもなる。そのため、ピンインでの入力だけでなく、音声入力も授業で学ぶことが求められると考える。最後に、TikTokやZoomの自動字幕サービスについても触れる。TikTokでは動画を撮影し、編集する過程のなかで、撮影した動画の音声に合わせて自動的に字幕を作成する機能がある。また、Zoomでも話者の言葉に従って、字幕が自動的に作成される機能がある。実際の場面では、字幕を付ける際には基本的にはこの機能を使い、はずれたもののみ修正することがほとんどである。今単元では、あくまで実際にTikTokにはアップしないので、この機能は紹介するにとどめたいが、実際に生徒が使用する際にはこの機能こそが中心となるだろう。キーボードでの入力により、コミュニケーションが促進することを考えれば、対象となる外国語での入力方法を学ぶことは、教科「情報」での学習事項ではなく、各外国語での学習事項となるだろう。「書く」ということについては、手書きだけでなく、入力を加えることも求められると考える。

また、7次で行った、発表とそれを聞く活動について、従来の活動内容の反省を含めて改善を図った。従来は、こうした発表を相互評価するときには、とにかく全員の発表を一人ずつ全員で見て、評価しコメントを書く、ということをしがちであった。だが、全員の発表を見ることは、発表方法が上手であったり、発音がきれいだったりするために、自らの学習に取り込めるという利点があるものの、基本的に同じような内容が同じような形式で続くため、発表を見ている生徒が飽きてしまうことがよくあった。

もちろん、相互評価能方法を工夫することで多少それを抑えることは可能ではあるが、そもそも、発表と、他の生徒がそれを聞くことには、どんな効果があるのだろうか。発表を全員で見ることは、話し手の側からすれば、自らの考えた内容を評価してもらい場であり、内容を整え、発音の練習をし、発表方法を工夫することであるため、話す力全般に効果があるだろう。聞き手の側はというと、他の人の発表を評価するために聞き取ったり読み取ったりする必要があり、聞く力（場合によっては読む力）

を育成する場となり、同時に、自らも同じような発表を行うため、他の人の発表を聞いて比較することで、自分の活動を振り返り、自己調整の機会ともなる。以上が発表の話し手としての立場の利点である。

一方で、聞き手の側の活動と考えた場合には、いくつか不安点がある。話し手の方の発音は初修段階であるため聞いてわかるような正しい発音であるのか、そもそも一度の発表で聞き手は聞き取れ、それを適切に評価できるのか。こうした点に疑問が残る。

以上の問題点に対応するため、今回は全員の発表を全員で見るという授業展開は取らず、一人当たり3人～4人の発表を聞くようにした。具体的には、撮影の時の班を4人1グループにし、A班～D班の四つの班とした。そして、発表を見る際には生徒にエアポッド等イヤホンを持ってきてもらい、自分以外の班を一つ授業者がそれぞれの班に指定し、その班の人たちの発表を聞き、内容をワークシートに書き、そのうえで評価するようにした。こうすることで、班ごとに同じ人たちを3～4人ほど聞くことができる。この活動を行うため、前述した字幕を入れる作業は、発表の後に行った。

その結果、他の人の発表を聞く機会は、人数的には減ったものの、聞き取れない場合、それを聞き逃したままにせず、何度も聞き直す意識が涵養できる。さらに、分からないところは話し合えるため、聞き取る力が低い場合も、別の学習者の聞き取りの助けを借りて聞き取ることができ、ワークシートに記入することができた。かくして、総合的に聞く力についても効果が高まった。発表や相互評価は、授業の中で展開される活動の一つであるので、その効果や目的を考えることで、活動の見直しが図れる機会となることがわかった。

今回の授業の目的は「書くこと」であるので、以上の活動はあくまで余技的なものであるが、発表という活動を見直すことで、活動の精度が高まり、授業改善が図れたように感じている。

本単元では、「書く」という目標を設定し、その力を身に付けるために「パフォーマンス課題」を単元に配置し、そのパフォーマンス課題を実施できる資質・能力を備えるために各授業を行う、「逆向き設計」論の単元構成となっている。文法等の事項や中国語の入力方法を学びながらも、「書く」という目標を常に念頭に置ける授業とし、かつ生徒が日常的に使用するSNSに近い環境を作り出すことで、少しでも主体的に学べるようにしたいと考えている。

■授業の概要

1. 学校名：神奈川県立深沢高等学校
2. 科目名：スペイン語
3. 単位数：2単位=50分×2（2時間連続授業）
4. 担当者：日比野 規生（外国語科教諭・専任）
5. クラスの構成：自由選択科目・高校3年生18名(男5名・女13名)
6. 生徒の概況：ほぼ全員が国際系の大学専門学校への進学を希望している

自由選択科目選択者のため学習意欲が高く、外国語への興味・関心が高い

7. 使用教科書：自主作成教材

■年間指導案

1. 年間目標：

スペイン語の語法・表現、特徴を学び、スペイン語による言語活動を通して簡単な情報や考えなどを理解したり状況を判断して的確に表現したり伝え合ったりするコミュニケーション能力の育成を目指す。スペイン語圏の国々の文化や特徴などに関する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に楽しみながらスペイン語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う		
生きて働く 知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養
スペイン語の発音のしかたや語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	スペイン語によるコミュニケーションを行う目的や場面、状況を的確に判断し、日常的な話題や社会的な話題について、スペイン語を使って簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	スペイン語圏の国々の文化や特徴に関する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 <u>特に文化や習慣が国それぞれ異なることを意識した上で、自国の文化とスペイン語圏の国々の文化を尊重する態度を養う。</u>

## 2. 単元構成：

月	単元名
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペイン語圏の国々と文化</li> <li>・アルファベット・発音・アクセントに関する知識</li> <li>・挨拶表現・自己紹介の表現</li> </ul> パフォーマンス課題①『自己紹介をしてみよう』
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本動詞（ser 動詞）で自分や友人のことを表現する</li> <li>・人や物の性質を表現する [(代) 名詞・形容詞の性 数一致]</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業を表すスペイン語</li> </ul> パフォーマンス課題②『友達を紹介しよう』（スペイン語圏の友達【仮想】を紹介する）
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本動詞（estar 動詞）で身の回りのことを表現する</li> <li>・場所の表現</li> </ul> パフォーマンス課題③『自分の家のまわりを紹介しよう』（場所・魅力を語る）
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ser 動詞、estar 動詞の復習、応用</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本動詞（tener 動詞）の用法を学ぶ</li> <li>・時刻、日付の表現</li> </ul> パフォーマンス課題④『インタビューに答えよう』（自分の好きな物、人について答える）
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な規則動詞(-ar)動詞の用法を学ぶ</li> <li>・接続詞の用法</li> </ul> パフォーマンス課題⑤『自己PRに挑戦する』
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較的長い文章を書き、発表しよう</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペイン語圏の国の魅力を語ろう。</li> </ul> パフォーマンス課題⑥『スペイン語圏の国民になりきって国の紹介番組に出演しよう』

### ■単元指導演

#### 1. 単元名

スペイン語圏の国民になりきって国の紹介番組に出演しよう

#### 2. 単元の目標

スペイン語圏の国の代表的観光地と料理を紹介するために必要な語法・表現を学び、それらを利用して相手にわかりやすく伝えたり、他者の発表を聞いて情報をまとめたりする能力の育成を目指す。また、番組を作成するうえで必要な情報をインターネットなどを利用して調べ、まとめたりすることによりスペイン語圏の国々の文化に関する理解を深め、主体的にスペイン語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う

生きて働く 知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養
スペイン語圏の国の代表的観光地と料理を紹介する際に必要な語彙、表現、文法、言語の働きを理解しそれらを正しく活用する。	視聴者が理解しやすい番組を構成し、観光地・料理の特徴、魅力をスペイン語でどう伝えればいいのかを考え、表現する。	紹介の対象となるスペイン語圏の国の魅力や観光地について粘り強く調べ、それらをわかりやすいスペイン語で表現しようとする。

### 3. 社会と文化への気づきのポイント

スペイン語圏の国の代表的観光地と料理を日本人に伝えるという役割を演じることで、様々な国の文化と自国の文化を比較しながら客観的に考える。

### 4. 他教科・他科目との連携

英語 1年 年間で約6回のパフォーマンス

総合的探究の時間 1～3年 調べたことを聞き手の立場になって発表する

### 5. パフォーマンス課題

あなたはスペイン語圏の国に住む人物です。今回、地元のテレビ局の依頼で自分の国の代表的観光地と料理を日本人に紹介する番組に出演することになりました。番組ディレクターからの依頼文は次の通りです。

この度はご出演をお受けいただき、ありがとうございます。早速ですが、紹介番組には次の要素を必ず入れていただきますようお願い申し上げます。

- ①番組の放送は日本時間の正午に行います。
- ②番組の冒頭に自己紹介をお願いします。(出身地、年齢・職業など詳しく)
- ②番組はあなたが紹介したい観光地からの生放送で行います。現地の時刻、天候とともにその観光地の魅力、特徴を日本人視聴者に伝え下さい。
- ③代表的料理は日本人に分かりやすく紹介してください。(写真や絵などもご使用いただけます)
- ④番組全体で国の特徴や魅力が日本人に伝わるよう工夫をお願いいたします。
- ⑤その他ご自分で番組の構成をお考えいただいても結構です。

追記 あなたが日本語を話せないことは伺っております。放送は全てスペイン語で結構です。局で字幕を入れることになっております。ご安心ください。番組の長さは最大5分をお願いいたします。(目安3分)

以上

- 注1 演じるスペイン語圏の人物は年度当初に氏名・国、年齢、職業などが決定済み。
- 注2 パフォーマンスはズームを利用して録画、編集後全体で視聴する。バーチャル背景で当該の観光地にいる雰囲気を演出する。日本にいる視聴者も生徒が演じる。
- 注3 録画作品はスクリーンで上映してのちに質疑などを行う。(できればスペイン語で)
- 注4 今回のパフォーマンスに10月の学習内容である規則動詞(-ar)を一つ用いるよう指示した。

#### 6. 学習指導における具体的な評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性	
		主体的に 学習に取り組む態度	観点別状況評価や評定には示しきれない 一人ひとりの生徒の よい点・可能性・進歩の状況
⇒観点別学習状況評価			⇒個人内評価
スペイン語圏の国の代表的観光地と料理を紹介する際に必要な語彙、表現、文法、言語の働きを理解しそれらを正しく活用している。	視聴者が理解しやすい番組を構成し、観光地・料理の特徴、魅力をスペイン語でどう伝えればいいのかを考え表現している。	紹介の対象となるスペイン語圏の国の魅力や観光地について粘り強く調べ、それらをわかりやすくスペイン語で表現している。	・スペイン語を自発的に楽しみながら学習しようとしている。 ・スペイン語を積極的に活用しようとしている。

#### 7. 単元の指導と評価の計画

次	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
1	・本単元の目標説明 ・番組に使えるような表現を探す。	【知識・技能】番組に使えるようなスペイン語の表現を探し意味や語法を理解している。	番組構成シートの点検
2	・紹介する観光地、料理を決定する ・出演する人物像を決定する	【思考・判断・表現】魅力的で視聴者に興味を持たせる観光地、料理、出演者像を考えている。	番組構成シートの点検
3	・台本を作成し表現を確認・練習する	【知識・技能】氏名、年齢、職業、出身などの表現をペアワークなどで確認しながら練習している。	番組構成シートの点検・取り組み状況の確認
4	・クラスメイトからの番組に関するインタビューに答えて番組を宣伝する。	【思考・判断・表現】相手の質問を聞き取り、意図をくみ取るとともに、的確に答えている。	生徒の質問内容と発言内容の確認
5	・リハーサル	【思考・判断・表現】自分が工夫し、意図をもって構成した	作成した台本の確認とリハーサルの取り組み状況の確認

		部分が効果的に表現できるか確認している。	
6	・撮影	【思考・判断・表現】 準備した番組構成の意図を踏まえて、正しく発表している。	パフォーマンス評価（ルーブリック）。
7	・番組視聴・質疑	【主体的に学ぼうとする態度】 発表を積極的に聞き、自ら進んで疑問に思ったことなどを積極的にスペイン語でやりとりしようとしている	視聴メモの確認 振り返りシート

#### 8 パフォーマンス課題の評価ルーブリック

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a スペイン語圏の国の代表的観光地と料理を紹介する際に必要な語彙、表現、文法、言語の働きを理解した上でそれらをわかりやすくかつ適切に活用している。	a 視聴者が理解しやすい番組を構成し、観光地・料理の特徴、魅力をスペイン語でどう伝えればいいのかを考えた上で表現している	a 紹介の対象となるスペイン語圏の国の魅力や観光地について粘り強く調べ、魅力的でわかりやすい番組を展開しようとしている。
b 一部の文章に誤りがあるが、紹介の内容理解に支障のない程度のスペイン語を用いて紹介している。	b 一部理解しにくい部分があるが、番組の趣旨を理解し構成を工夫して番組を展開させている。	b 紹介の対象となるスペイン語圏の国の魅力や観光地について粘り強く調べ番組を構成している。
c 「b」を満たしていない。	c 「b」を満たしていない。	c 「b」を満たしていない。

### ■本時の指導案

#### 1. 本時の指導と評価の計画

分	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
5	・挨拶 ・出席確認 ・本時の内容の説明	・正しい発音で挨拶している	(取り組み状況の確認)
10	・単元の目標の確認 ・パフォーマンスのポイントの確認	・本単元の目標及びポイントを理解している ・パフォーマンスに必要な表現を理解している	(取り組み状況の確認)

10	今日の表現（テレビ中継で必要な表現）	¿Me escucha? Yo no escucho bien. などの表現を正しく発音している【知識・技能】	ワークシートの確認
2	メモ記入の注意		
3	放送（ビデオ放映の手順の説明）		
20	パフォーマンスビデオ視聴（7か国の予定）	メモを取りながら他の生徒の発表の評価を観点の内容に即して的確に記載している【思・判・表】	発表内容の確認 (記載状況の確認) (取り組み状況の確認)
10	休憩		
30	パフォーマンスビデオ視聴（11か国の予定）	メモを取りながら他の生徒の発表の評価を観点の内容に即して的確に記載している【思・判・表】	発表内容の確認 (記載状況の確認) (取り組み状況の確認)
10	感想（日本語及びスペイン語で）	発表の感想と『どの国に行きたくなったか』をスペイン語で正しく表現している【知識・技能】	発表内容の確認
10	まとめ・振り返りシートの記入	本時の内容を理解し、	

#### 備考

年間指導計画にあるすべての学習内容を本パフォーマンスに落とし込むと、下記に記したプレゼンが可能であると仮定し、カリキュラムのバックワードデザインを形成した。

尚、丸数字は年間指導計画にある、①～⑤のパフォーマンスのコアになる学習内容である。

i①Hola amigos de ①Japón!

①Soy María.

①Mucho gusto.

①Soy de Tegucigalpa, Honduras.

Soy ②locutora de Azteca Honduras.

②Azteca Honduras es una estación de televisión.

Ahora ③estamos en las ruinas de Copán.

④Son las nueve de la noche.

Las ruinas de Copán son ②más famosas de Honduras.

④Tenemos muchas comidas ②ricas en Honduras.

Montucas son ②muy famosas y deliciosas.

¿Por qué no probarlas?

⑤Muchas gracias por su atención.

①Adiós! Hasata la vista.

■授業の概要

1. 学校名：埼玉県立上尾鷹の台高等学校
2. 科目名：英語コミュニケーションⅠ
3. 単位数：3単位
4. 担当者：鈴木冴子
5. クラスの構成：高校1年生 26名(男11名・女15名)
6. 生徒の概況：英語に苦手意識を持っている生徒が多い。該当クラスは、2クラス3展開をしている。中での、成績上位のクラスである。意欲的に取り組む生徒が多い。
7. 使用教科書：三省堂『VISTA English CommunicationⅠ』

■年間指導案

1. 年間目標：

聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り）、話すこと（発表）、書くことを一体的に育成するとともに、言語材料と言語活動を効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。		
生きて働く 知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養
身の回りのことを表現するのに、必要な表現を身に着ける。 中学校で学んだ知識を活かして、文構造を理解し、ある程度のまとまった文章を理解することができる。	身近な話題について、自分の言葉で表現することができる。	コミュニケーションをとろうとする態度の育成をする。クラス内で、生徒同士協力・協調しながら学ぶことができる。 学習に向かう態度を養うことができる。 多文化を受け入れる態度を養う。

2. 単元構成：

	指導計画・指導内容	評価方法
第1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辞書指導</li> <li>・ののちゃんの英文法</li> <li>・Lesson 1</li> <li>・Lesson 2</li> <li>・Lesson 3</li> <li>・Lesson 4</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題考査</li> <li>・中間考査</li> <li>・期末考査</li> <li>・単語テスト</li> <li>・提出物</li> <li>・パフォーマンステスト及び成果物</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語テスト（毎週）</li> <li>・リスニング演習（毎週）</li> </ul>	
第2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 5</li> <li>・ Lesson 6</li> <li>・ Lesson 7</li> <li>・ Lesson 8</li> <li>・ 単語テスト（毎週）</li> <li>・ リスニング演習（毎週）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題考査</li> <li>・ 中間考査</li> <li>・ 期末考査</li> <li>・ 単語テスト</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ パフォーマンステスト及び成果物</li> </ul>
第3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 9</li> <li>・ Lesson 10</li> <li>・ 単語テスト（毎週）</li> <li>・ リスニング演習（毎週）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題考査</li> <li>・ 中間考査</li> <li>・ 期末考査</li> <li>・ 単語テスト</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ パフォーマンステスト及び成果物</li> </ul>

## ■単元指導案

### 1. 単元名 Lesson4 Pictograms

#### 2. 単元の目標

<p>絵で伝える「ピクトグラム」について、身近にあるコミュニケーションの手段として考え、伝えることの難しさ、面白さを学び、様々な文化的背景を持つ方々ともノンバーバルコミュニケーションを通じて伝え合える可能性についても学ぶことができる。</p>		
生きて働く 知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養
助動詞・動名詞を使い、文を作ることができる。 ピクトグラムについて概要を把握できる。中学校で学んだ知識等を活かして、本文の文構造を理解することができる。	助動詞や動名詞を使い、自分の身の回りのことを表現できる。 自分で考案したピクトグラムについて、表現することができる。	プレゼンテーション活動を行い、コミュニケーションをとろうとすることができる。 クラス内で、生徒同士協力・協調しながら学ぶことができる。 学習に向かう態度を養うことができる。 絵でもコミュニケーションをとることができることを学ぶ。

#### 3. 社会と文化への気づきのポイント

「ピクトグラム」に関する文章を読み、伝えることの難しさ、面白さを学び、様々な文化的背景を持つ方々ともノンバーバルコミュニケーションを通じて伝え合える可能性についても学ぶ。

#### 4. 他教科・他科目との連携

美術（人に伝わるデザイン）

#### 5. パフォーマンス課題

ALT の先生に、鷹の台高校（日本の高校生活）のことについて表すピクトグラムを作り、それを紹介しよう。

#### 6. 学習指導における具体的な評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性	
		主体的に 学習に取り組む態度	観点別状況評価や評定には示しきれない 一人ひとりの生徒の よい点・可能性・進歩の状況
⇒観点別学習状況評価		⇒個人内評価	
助動詞・動名詞を適切に使い分け、文を作ることができるか。 その際、中学校で学んだ知識を活かして、文構造を理解することができるか。 (定期考査、提出物)	助動詞や動名詞を使い、自分の身の回りのことを表現できているか。 (定期考査) 自分で考案したピクトグラムについて、表現することができるか。 (パフォーマンス課題) (定期考査)	プレゼンテーション活動を行い、ALT とコミュニケーションをとろうとすることができているか。 (振り返り) (授業観察) 学習に向かう態度を養うことができているか。 (単語テスト)	クラス内で、生徒同士協力・協調しながら学ぶことができたか。 コミュニケーションについて理解を深められたか。 (振り返り)

#### 7. 単元の指導と評価の計画

次	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
1	Section1	【知識・技能】 語彙・表現について理解できているか。	(定期考査)
2	Section1	【知識・技能】 ピクトグラムの始まりについて理解できているか。	(定期考査)
3	Section1&Section2	【知識・技能、思考・判断・表現】 助動詞を理解できているか。	(定期考査)
4	Section2	【知識・技能】 ピクトグラムの意味や目的について理解してい	(定期考査)

		るか。	
5	Seciton2&Section3	【知識・技能、思考・判断・表現】 動名詞について理解ができる。	(定期考査)
6	Section3	【知識・技能】 ピクトグラムの汎用性について知ることができる。	(定期考査)
7	Section3	【知識・技能、思考・判断・表現】 動名詞について理解をすることができる。	(定期考査)
8	ピクトグラムづくり	【思考・判断・表現、 学びに向かう力・人間性】 自分のピクトグラムについて考える。	ルーブリック
9	まとめの問題	【知識・技能、思考・判断・表現】	(定期考査)
11	まとめの問題	【知識・技能、思考・判断・表現】	(定期考査)、提出物
12	発表、まとめ	【思考・判断・表現、 学びに向かう力・人間性】 発表を行い、全体の振り替りを行う。	ルーブリック

8 パフォーマンス課題の評価ルーブリック

	素晴らしい 4点	できた 3点	もう一息 2点	それはちょっと 1点
内容	内容が理解でき、第三者にわかりやすく伝えられることができる。	特徴を理解し、ある程度他の人と共有できる。	ピクトグラムの特徴はなんとなくわかったが、他の人には伝えづらい。	ピクトグラムの内容がよく分からなかった。
声、流暢さ	はっきりとした大きな声で話し、よく聞き取れる。	声もはっきりしていて、問題なく聞き取れる。	声が小さくなるところがあり、聞き取りにくいところがある。	声が小さくなった、ぶつぶつぶやくようになったりするところが多い。
ジェスチャー 視線	聞き手に、目や手を使い内容を効果的にアピールするために使っている。	聞き手に目や手でアピールをしている。	聞き手に目や手を使って伝えていように見える。	あまり、使うことができていない。

ピクトグラム	内容と絵がとても合っている。 絵に個性が表れている。	内容と絵がだいたい合っている。	内容と絵が合っていない、わからない。	絵がない。
--------	-------------------------------	-----------------	--------------------	-------

■本時の指導案

1. 本時の指導と評価の計画

分		学習活動	具体的な評価規準	評価方法
1	導入	挨拶		
15	展開	練習、順番決め		
4		評価の確認		
20		パフォーマンス発表		ルーブリック
5	まとめ	ふりかえり、フィードバック		

2. 補足事項

■授業の概要

1. 学校名：カリタス女子中学高等学校
2. 科目名：フランス語
3. 単位数：2
4. 担当者：小林 典子
5. クラスの構成：女子生徒 約20名（ハーフクラス）
6. 生徒の概況：中学一年生よりフランス語学習開始・言語レベルA1
7. 使用教科書：Adosphere 1 (Hachette)

■年間指導案

1. 年間目標：

自分の行うスポーツとその理由、自分の住んでいる町の紹介や道案内、自分の一日の流れ（時間）など、日常生活について語れるようになる。		
生きて働く 知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養
年間目標において必要な語彙と文法・表現の習得。	目的に応じて、知識と技能が使えるよう、ネイティブ先生との授業で使い方を知る、学ぶ。	相手とのコミュニケーションの中で、より良い意思の疎通や目的に応じた柔軟な会話ができる。

2. 単元構成：

月	単元名	備考
4－7	Module 4	前期授業
9－11	Module 5	後期中間まで
12－3	Module 6	学期末まで

■単元指導演

1. 単元名 Module 5

2. 単元の目標

自分の住んでいる町について話せたり紹介できるようにする。道順を説明できるようにする。		
生きて働く 知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養
街の中の物や交通機関の名称 位置を示す前置詞 道順を示すための語彙・表現 「どこ?」「いつ?」などの疑問 詞	コミュニケーションを行う目的 や場面において、フランス語で 概要や要点、話し手や書き手の 意図などを的確に理解し、これ らを活用して適切に伝え合うこ とのできる能力を養う。	フランス文化に対する理解を深 め、自分の興味関心をもとに、主 体的に発展的会話が出来たり書 いたりできるようになる。

3. 社会と文化への気づきのポイント

自分の住む街についての理解とともに、日仏の違いや移動法の多様性も知る。道に迷って困っている方々に遭遇したら、すぐに助けて差し上げられるよう自信をつける。

4. 他教科・他科目との連携

日常交通手段の社会的機能の違いなど、社会科とも連携。

5. パフォーマンス課題

自分の街の紹介、相手の住む町を尋ねる。

6. 学習指導における具体的な評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性	
		主体的に 学習に取り組む態度	観点別状況評価や評定には示しきれない 一人ひとりの生徒の よい点・可能性・進歩の状況
⇒観点別学習状況評価		⇒個人内評価	
街の中の状況、位置情報などを伝えるために必要な、名詞、前置詞、動詞などの語彙を増やす。	知識を活用して、実際に相手の情報や考えを聞いたり読んだり、自分のことを適切に伝える表現をしり、正しい発音で伝えることができる。	聞き手に自分のことがよくわかってもらえるように、理由と共に分かりやすく友好的に伝える努力をする。	学習内容に自分の興味関心を結び付け、自分なりの可能性を見出し、それに近づけるように粘り強く取り組む姿勢を持つ。

--	--	--	--

7. 単元の指導と評価の計画

次	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
1	教科書で登場人物の住む町の観察・それにまつわる Dialogue を聞く	教科書で出てきた場所の名称と Dialogue の内容把握が出来ているか。	該当箇所の内容で作成した宿題プリントの提出。
2	～の家に [chez～] という表現で友人の家までの道案内の言い方を学ぶ。強勢形人称代名詞を学ぶ。	強勢形人称代名詞を正しく理解する。前置詞（特に chez）の後に、どの人称でも正しく使えるようにする。	プリントワークと相互確認。該当箇所の内容で作成した宿題プリントの提出。
3	自分の住む町の紹介と好きな理由。道案内のための表現の学習。	前置詞 de と定冠詞の縮約が正しく理解できているか、場所を示す表現で応用できるか。	プリントワークと生徒間での照らし合わせ。宿題プリント。

8 パフォーマンス課題の評価ルーブリック

■本時の指導案

1. 本時の指導と評価の計画

分	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
	挨拶	学習できる態勢になる。 学習内容を理解する。	身なりを整え、学習態勢に入っている。 学習内容を理解しようとする。

--	--	--	--

2. 補足事項

■授業の概要

1. 学校名： 東京都立青梅総合高等学校
2. 科目名： ハングル
3. 単位数： 2単位
4. 担当者： 石黒みのり
5. クラスの構成： 高校2,3年生 46名(男6名・女40名)
6. 生徒の概況： 選択科目、Kカルチャーに関心のある生徒が多い
7. 使用教科書： 『できる韓国語 中・高校生の基本編』（アスク出版）

■年間指導案

1. 年間目標：

<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国語に関心を持つことができる。日本語（母語）との共通点や違いを見つけることができる。</li> <li>・学習した文法及び語彙を積極的に使用し、自ら表現（発信）することができる。</li> <li>・簡単な表現は聞き取ることができ、やりとりすることができる。</li> </ul>		
生きて働く 知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養
自ら表現（発信）及びやりとりするために、必要な語彙表現を習得する。	自ら表現（発信）するために必要な文法及び語彙を積極的に使用しすることができる。 (学習したことを前提に)簡単な表現は聞き取ることができ、やりとりすることができる。	韓国語に関心を持つことができる。 学習した表現や文法、単語を通して日本語（母語）との共通点や違いを見つけることができる。

2. 単元構成：

月	単元名	備考

■単元指導案

1. 単元名 ?

2. 単元目標

生きて働く 知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養

3. 社会と文化への気づきのポイント

4. 他教科・他科目との連携

なし

5. パフォーマンス課題

スキットを通して韓国語及び韓国文化を知ろう

6. 学習指導における具体的な評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性	
		主体的に 学びに取り組む態度	観点別状況評価や評定には示しきれない 一人ひとりの生徒の よい点・可能性・進歩の状況
⇒観点別学習状況評価		⇒個人内評価	
スキットを通して自分を表現するために、必要な語彙表現、及び発音を習得する。	スキットを通して自分を表現するために必要な文法及び語彙を積極的に使用することができる。 (学習したことを前提に) 簡単な表現は聞き取ること	グループ内で練習する態度、発音、声の大きさ、協力して練習しているかどうか	授業レポート 相互評価(ルーブリック評価)

	ができ、やりとりすることができる。		
--	-------------------	--	--

7. 単元の指導と評価の計画

次	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
1			
2			
3			

■本時の指導案

1. 本時の指導と評価の計画

分	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
		く	

2. 補足事項

## ■授業の概要

1. **学校名**：大阪府立門真なみはや高等学校
2. **科目名**：中国語演習（選択必修科目、「グローバル中国語」と連携）
3. **単位数**：2単位（50分×2コマ連続×週1日）
4. **担当者**：柳 素子（中国語教諭）
5. **クラスの構成**：高校2年生 15名（男子1名・女子14名）
6. **生徒の概況**：本クラスは女子14名、男子1名、計15名から成り、4月から週2コマというペースで中国語を学んでいる。授業中は積極的に発表し質問もよくでる。しかしその一方で集中力が続かなかつたり、学習事項の定着度も高くはないという生徒もいる。なお、クラスには中国ルーツの生徒が1名在籍しており、他の生徒が教科書の本文、文法事項、練習問題に取り組んでいる時には、NCT（中国語ネイティブ教員）の指導のもと中国語検定対策を行っている。  
  
学習動機：将来役に立つと思ったから。中学校・高校で中国ルーツの同級生がいたから。英語が苦手だったから。アルバイト先で使いたいからなど。
7. **使用教科書**：「できる・つたわる・コミュニケーション中国語」（白水社）

## ■年間指導案

### 1. 年間目標：

中国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。また、中国語の背景にある文化、価値観についても理解を深め、多文化共生の考え方にも着目して捉えさせる。		
生きて働く 知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養
中国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともにこれらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題（身近で簡単な事柄）について、中国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	中国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。また、来るべき多文化共生社会において、中国ルーツの人々と積極的に関わり共生していこうとする態度を育成する。

2. 単元構成：

月	単元名	備考
4月	第1課 あいさつする	
5月	第2課 名前を尋ねる 第3課 食べたいものを尋ねる	
6月	第4課 近況を尋ねる 復習1 第1課～第4課	パフォーマンス課題： 自己紹介
7月	第5課 予定を尋ねる	
9月	第6課 場所を尋ねる。 第7課 注文する	
10月 11月	第8課 買い物をする（値段の交渉をする） 復習2 第5課～第8課	「グローバル中国語」と連携 パフォーマンス課題： 中国食材店の紹介
12月	第9課 出来事を尋ねる①	
1月	第10課 出来事を尋ねる②	
2月	1年の総復習	

■単元指導案

1. 単元名 「第8課 値段の交渉をする」

2. 単元の目標

<p>・日常的な話題（買い物）について、基本的な語句や文を用いて、相手に配慮しながら話して伝えることができる。</p> <p>・中国食材店での購買実習を通して、中国の文化、価値観について理解を深める。</p> <p>・地域社会において、中国ルーツの人々（地元の中国食材店の店員、近隣の小学校の中国ルーツの児童）と交流することで、多文化共生のあり方について考える。</p>		
生きて働く 知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養
指示代名詞、量詞（助数詞）、値段の言い方の意味・用法を理解する。またこれらの知識を実際のコミュニケーション（買い物や中国食材店の紹介）において活用できる技能を身に付けるようにする。	・買い物の場面において、既習事項も使って、自分の好みや要望を適切に表現したり伝えたりすることができる。 ・中国食材店を紹介する場面において既習事項も使って適切に表現したり伝えたりすることができる。	・中国ルーツの店員や小学生など年齢の異なる相手に配慮しながら、中国語を使って積極的にコミュニケーションを図ることができる。 ・中国食材店の取材を通して、中国語の背景にある文化に対する理解を深め、地域社会において多様なルーツの人々と共生していくためにはどうすればいいのかを考える。

### 3. 社会と文化への気づきのポイント

- ・ K市に中国食材店が多い理由について考察する。(「グローバル中国語」で実施)  
 (「府内市町村の在留外国人数が多い上位 10 か国・地域名及び在留外国人数(大阪府 2021 資料)」などを用いて、K市は府下でも外国人在住者が多く、その中でも市の人口に占める中国人の割合が比較的高いことを理解する。)
- ・ 中国語食材店への取材から商品の特徴や日本の食材店との異同について考える。  
 (人気商品、お勧めの食材からわかる文化的背景、(店にもよるが) 営業時間がフレキシブル、日によって提供する商品が異なるなど)

### 4. 他教科・他科目との連携

「グローバル中国語(中国事情に関する科目)」と連携する。

### 5. パフォーマンス課題

K高校の中国語クラスでは同市内にあるA小学校の中国語母語クラスの児童と交流を行っています。今年度は市内の中国食材店(3店)の紹介をすることになりました。店への取材(買い物)を行い、その内容をPPTにまとめ、母語クラスの小学生に中国語と日本語でプレゼンテーションを行います。

### 6. 学習指導における具体的な評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性	
		主体的に 学習に取り組む態度	観点別状況評価や評定には示しきれない 一人ひとりの生徒の よい点・可能性・進歩の状況
⇒観点別学習状況評価		⇒個人内評価	
・指示代名詞、量詞(助数詞)、値段の言い方の意味・用法を理解する。 ・上記の知識の理解を基に、買い物や中国食材店の紹介において活用できる技能を身に付けている。	・買い物でほしいものを探そうとできるように、既習事項も活用しながら自分の好みや要望を、適切に表現し、伝えている。 ・中国食材店について既習事項も活用しながら適切に表現し、わかりやすく紹介している。	・買い物でほしいものを探そうとできるように、自分の好みや要望を、適切に表現し伝えようとしている。 ・中国食材店について既習事項も活用しながら適切に表現し、わかりやすく紹介しようとしている。 ・相手に配慮しながら、中国語を使って主体的に、自立的にコミュニケーションを図ろうとしている。	・単元の学習後も、中国ルーツの人々が多く居住する地域において、自らとは異なる文化、価値観について理解し、中国語を使って積極的に関わり共生していこうとする意欲が見られる。

## 7. 単元の指導と評価の計画

次	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
1	指示代名詞、助数詞、中国の通貨について学ぶ。	買い物をする場面で必要な語彙・文法事項を理解し、表現することができる。【知・理】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・ワークシートの記述点検</li> <li>・練習問題の点検</li> <li>・本文暗唱テスト</li> </ul>
2	値段を尋ねたり、値引き交渉に関する表現を学ぶ。		
3	《校外学習（フィールドの日）》 神戸中華街でのフィールドワーク（購買実習）	適切な表現を使って買い物ができる。【思・判・表】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・振り返りシートの記述点検</li> </ul>
4	中国食材店での取材（買い物）で必要な表現をまとめる。	<p>既習事項も活用しながら、取材（買い物）で必要な表現をまとめることができる。【思・判・表】</p> <p>グループワークにおいて、協力しながら積極的に課題を解決しようとしている。【態】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・ワークシートの記述点検</li> </ul>
5	中国食材店での取材を行う。	<p>買い物の場面において、既習事項も使って、自分の好みや要望を適切に表現したり伝えたりすることができる。【思・判・表】</p> <p>グループのメンバーと協力しながら取材や原稿の作成を行う。【態】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> </ul>
6	中国取材結果をPPTにまとめ、発表原稿を作成する。		
7	小学校でのプレゼンテーション、振り返り	<p>中国食材店について既習事項も活用しながら適切に表現し、わかりやすく紹介している。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>グループのメンバーと協力しながら、聞き手に配慮した（ジェスチャー、アイコンタクト等）、わかりやすい発表を行っている。また、振り返りシートの記述からは、自らの言語活動を振り返り、中国文化への理解が見られる。</p> <p>【態】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・ループリック評価</li> <li>・発表原稿（PPTの内容も含む）</li> <li>・振り返りシートの記述点検</li> </ul> <p>&lt;当日はプレゼンテーションを録画し、後日動画を確認しながら評価を行う。&gt;</p>

## 8 パフォーマンス課題の評価ルーブリック

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙や表現が適切に使用されている。</li> <li>・理解しやすい発音で話している(声調やピンイン(発音記号)に気をつけて発音しており、声も大きく明瞭で、伝えたい内容がよくわかる。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国食材店の様子や特徴が十分に伝わるように、わかりやすく<u>話している</u>。</li> <li>・既習事項(時間・曜日の言い方、場所を尋ねる表現、所有の表現など)を三項目以上活用しながら、表現したいことを<u>伝えて</u>いる。</li> <li>・視覚資料を効果的に活用し、非常にわかりやすい発表である。(PPTの写真、レイアウト、文字サイズ等が見る人を引きつけ、印象に残る工夫がある。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国食材店の様子や特徴が十分に伝わるように、わかりやすく<u>話そうとしている</u>。</li> <li>・既習事項(時間・曜日の言い方、場所を尋ねる表現、所有の表現など)を三項目以上活用しながら、表現したいことを<u>伝えようとしている</u>。</li> <li>・発表では、聞き手に配慮して、常にアイコンタクトを保ち、伝えたい部分の強調や身振り手ぶりなどを工夫している。</li> <li>・一回で通じなくても、繰り返したり、自らの中国語の発音を省みながら言い直すなど、粘り強くコミュニケーションを取ろうとしている。(自己調整、粘り強さ)</li> </ul>
b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている。</li> <li>・多少の誤りはあるが、理解できる発音で話している(声調やピンイン(発音記号)の正確さに少し欠けるが、大体声も大きく明瞭で、伝えたい内容はほとんどわかる。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国食材店の様子や特徴をわかりやすく<u>話している</u>。</li> <li>・既習事項(時間・曜日の言い方、場所を尋ねる表現、所有の表現など)を1項目以上活用しながら、表現したいことを<u>伝えて</u>いる。</li> <li>・視覚資料を活用し、わかりやすい発表である(PPTの写真、レイアウト、文字サイズ等が見やすい。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国食材店の様子や特徴をわかりやすく<u>話そうとしている</u>。</li> <li>・既習事項(時間・曜日の言い方、場所を尋ねる表現、所有の表現など)を1項目以上活用しながら、表現したいことを<u>伝えようとしている</u>。</li> <li>・発表では、アイコンタクトや伝えたい部分の強調、身振り手ぶりなどが部分的に見られる。</li> </ul>
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

■本時の指導案

1. 本時の指導と評価の計画

分	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
5	○中国語であいさつをする。 ○中国語で日時、曜日を言う。	正確に発音している。【知・理】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動観察</li> <li>・ ワークシート (Googleドキュメント) の記述分析</li> </ul> <p>本時では、「ワークシート」の記述分析以外は記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。(生徒の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が生徒の学習状況を確認する。)</p>
10	○本時の目標の確認  中国食材店で店員とのやりとりを想定した会話文を作成しよう。  ○音読練習 <u>教科書 (第8課本文)</u> ・ピンインのみ、簡体字のみ、日本語のみのそれぞれの画面を見ながら練習する。 ・リピート、個人、ペアでの練習を指示に従って行う。 <u>振り返りシート (中華街での購買実習) の表現</u> ・振り返りシートの記述点検で生徒が難しいと回答した表現についても発音練習をしておく。	指示代名詞、量詞 (助数詞)、値段の言い方の意味・用法を理解した上で、正確に発音している。【知・理】	
20	○会話文の作成 4つのグループに分かれ、各自がクロムブックを用いて、グループごとにワークシート (Googleドキュメント) を共有しながら、会話文を作る。 ○Sharing (中間指導) 各グループの疑問点などを全体で共有し、内容面と言語面からのフィードバックを受ける。 ○会話文の発表の準備 ・発表内容をまとめる。 ・インターネットの音声システムなども利用して各自発音練習を行う。	・買い物でほしいものを探すことができるように、既習事項も活用しながら自分の好みや要望を、適切に表現している。【思・判・表】 ・グループのメンバーで協力しながら作成している (フリーライダーが生じていない)。【態】 ・Sharing (中間指導) では積極的に意見を出している。【態】	
10	○会話文の発表 1グループを抽出し発表を行う。(他のグループは次時に発表する。ただし時間に余裕があれば、2組目の発表も行う。)	・正しい発音を用いて発表できているかどうか。【知・理】 ・正確に書けているかどうか。【知・理】	
5	○本時のまとめをする ○次時の予告を聞く。 ○中国語であいさつをする。		

## 2. 補足事項

### (1) パフォーマンス課題の設定理由

『中国語演習』の初回の授業では、学習者の意識を指導に反映させるため、毎年レディネス調査を行っている。今年度の調査結果からは、半数以上の生徒が中学校や高校のクラスに中国ルーツの生徒が在籍していたことがきっかけで本科目を履修したことが明らかになった。生徒の多くが日常生活において、中国人や中国語に接する機会があり、そこから興味を抱いて本科目を選択したのではないかと考える。また、昨年1月の中教審答申には、「学校においては、日本人を含む全ての児童生徒等が、我が国の言語や文化に加えて、多様な言語や文化、価値観について理解し、互いを尊重しながら学び合い、異文化理解や多文化共生の考え方が根付くような取組を進めることが重要である(中教審2021)」とあり、「異文化理解」のみならず、さらに「多文化共生」に関する学びについても求められるようになってきている。こうした背景をふまえ、本単元では中国語の学習を通して「多文化共生」への理解を深めることを目標に、中国ルーツの人々が多く居住する地域社会に目を向け、地元の中国食材店で取材を行い、その成果を近隣の小学校の中国語母語クラスで発表することとする。

### (2) 授業改善に向けて

#### ア. 「宣言的知識」から「手続き的知識」の獲得まで

本年度より高等学校新学習指導要領(平成30年告示)が年次進行で実施されているが、外国語科では、4技能の1つである「話す」が「やり取り」「発表」の2領域に分かれ、新たに4技能5領域(「聞く」、「読む」、「書く」「話す(やり取り)」「話す(発表)」)の育成を目指すこととなった。学習指導要領の改訂により、さらに言語活動を充実させることになったわけである。そこで本単元でも普段の授業で「話す」活動を多く取り入れるほか、「やり取り」の活動を2回(中華街での購買実習と地元中国食材店での取材(購買実習))、「発表」を1回(小学校での母語クラスでの食材店の紹介)それぞれ実施することにした。ただし、これまでの指導において、文法項目を理解し、練習問題も解くことができるにもかかわらず、「話す」場面において、既習事項を想起し、即興で伝えることが難しいという生徒が見受けられた。宣言的知識(declarative knowledge)を獲得しているにもかかわらず、それを手続き的知識(procedural knowledge)まで昇華できない学習者が毎年観察されるのである。そこで、授業においては語彙や表現の発音練習やパターンプラクティスといったプレコミュニケーション活動を十分に行う。また、中華街や食材店での購買実習や紹介などといった活動の前には、事前に「やり取り」や「発表」の場で想定される表現を共有して臨みたい。

#### イ. KPT法の導入

これまでの実践では、振り返りシートはほとんど自由記述にしていたため、「楽しかった」、「よかった」などの簡単な感想に終始する例も多く見られ、学びに対する内省が具体的に記述されないこともあった。そこで、本単元では「振り返りでは、最初から自由記述にするのではなく、その視点を複数個提示し、そこから自分を見つめる意識を持たせ(『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料中学校外国語』p82)」るべくKPT法を導入する。KPT方法とはビジネスの分野で多く用いられている手法であり、Keep(よかったこと)、Problem(問題点)、Try(新たに実践すること)の3項目ごとに分けて記述するものである。本単元では、生徒が取り組みやすいように、Google Jamboardを用い、3枚の付箋を使って記入するようにする。

#### ウ. Sharing（中間指導）の導入

これまで、会話文の作成などグループごとの言語活動においては、机間指導を行い、適時質問に応じたり声掛けをしたりしてきた。ところが、グループ自体の話し合いが進まなかったり、指導する側も同じような質問を複数回受け、その一つ一つに返答することで時間が足りなくなることがあった。そこで、本単元では Sharing（中間指導）を導入し、グループ活動の活性化と指導の効率化を目指す。これは、「活動を途中で一旦止め、言えなかったことやわからなかったことをクラスで共有し、フィードバックする（『英語教育』大修館書店 2020.1月号）」ことで、内容面と言語面から全体にアドバイスをすることが可能になる。ただし、なるべく生徒同士の話し合いを尊重し、教師側からむやみに答えを教えないようにしたい。

(追加分)

## ■ 授業の概要

1. 学校名：カリタス女子中学高等学校
2. 科目名：フランス語
3. 単位数：2単位=45分×週2時間（ネイティブ1時間、日本人1時間、必修科目）
4. 担当者：松木瑤子
5. クラスの構成：中学2年生19名（ハーフクラスによる少人数展開）
6. 生徒の概況：言語レベルはCEFR A1
  - ・ 1年次より学習を開始（今年度は学習2年目）。1年次は内部進学者と外部入学者に分かれたクラス編成だが、2年次以降は内部進学者と外部入学者の別なく、出席番号によるハーフクラス展開としている。
  - ・ 10月3週目に実施される後期第一中間試験以降、ハーフクラス間で担当者が交代する。
  - ・ 21クラス偶数：英語のアドバンストクラスに所属する生徒と一般クラスに所属する生徒が混在するクラス。まじめで比較のおとなしいが、学習意欲の高いクラス。
  - ・ 21クラス奇数：英語のアドバンストクラスに所属する生徒と一般クラスに所属する生徒が混在するクラス。まじめでおとなしいが、学習意欲の高いクラス。
  - ・ 22クラス偶数：英語の一般クラスに所属する生徒のみで構成されたクラス。明るく活発なクラス。
  - ・ 22クラス奇数：英語の一般クラスに所属する生徒のみで構成されたクラス。おとなしいクラス。
7. 使用教科書：主教材：« Adosphère 1 » (Hachette, 2011)  
副教材：『ふらんす 夏休み学習号』（白水社、2022）

## ■ 年間指導案

### 1. 年間目標：

- ・ 自分のことや日常生活、学校生活など身の回りのことについて、フランス語の語彙や表現、それらの発音、文法、ことばの働きや特徴について学ぶとともに、フランス語による「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」ことの言語活動を通じ、コミュニケーションの相手や他者に配慮して、必要な情報や考えを理解したり整理したり、あるいは表現したり伝え合ったりすることができる。
- ・ フランス語が、オリンピック・パラリンピックの公用語であるとともに、世界で広く使われていることばであることも踏まえ、フランス語圏のさまざまな社会・文化に関心を広げ、日本を含む

多様な社会・文化について理解を深めていくことも目指す。		
生きて働く 知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のことや日常生活、学校生活など身の回りのことについて、必要な情報や考えを理解したり整理したり、あるいは表現したり伝えあったりするために必要なフランス語の語彙や表現、それらの発音、文法、ことばの働きや特徴などを理解し、それらの知識を実際に活用していくための技能を身につける。</li> <li>フランス語が、オリンピック・パラリンピックの公用語であることや、さまざまな国や地域で使われていることについて知るとともに、日本やフランス語圏の多様な文化について理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のことや日常生活、学校生活など身の回りのことについて、習得したフランス語の知識・技能を状況に合わせて適切に取捨選択・活用して、コミュニケーションの相手や他者に配慮しながら、必要な情報や考えを理解したり整理したり、あるいは表現したり伝え合ったりすることができる。</li> <li>フランス語圏にはさまざまな社会・文化があるという知識を踏まえ、日本を含む多様な社会・文化において、状況を適切に判断し、相手に配慮しながら行動することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のことや日常生活、学校生活など身の回りのことについて学んだことを踏まえ、日本やフランス語圏を含む多様な社会・文化に目を向け理解を深めながら、コミュニケーションの相手や他者に配慮し、状況に応じて適切に情報や考えを理解したり整理したり、あるいは表現したり伝え合ったりしていこうとする態度を養う。</li> </ul>

## 2. 単元構成：

月	単元名
4、5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界に広がるフランス語圏</li> <li>中学1年生の復習</li> <li><b>Module 4 : Loïc (スポーツについて学ぼう)</b></li> <li>Module 4 Leçon 1 : 自分のしているスポーツについて語ろう <ul style="list-style-type: none"> <li>動詞 faire、faire と jouer の使い分け</li> <li>部分冠詞</li> </ul> </li> </ul>
5、6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>Module 4 Leçon 2 : スポーツをする理由について語ろう <ul style="list-style-type: none"> <li>身体の名称</li> <li>所有形容詞</li> <li>pour ~ を使った表現 (理由を表わす表現)</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>Module 4 Leçon 3 : パラリンピック競技について考えよう <ul style="list-style-type: none"> <li>20～69 までの数字</li> <li>つづりと発音の規則と数の表現</li> <li>疑問文の作り方 (3通り)</li> </ul> </li> <li>● パフォーマンス課題 : 自分の好きなスポーツ選手について紹介しよう</li> </ul>
7、8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休み課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>夏課題冊子 (中1～中2前期までの復習)</li> <li>『ふらんす 夏休み学習号』(白水社)</li> <li>食で発見! 日本の中のフランコフォニー</li> </ul> </li> </ul>
9、10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>Module 5 : Imane (道案内・街紹介をしよう)</b></li> <li>Module 5 Leçon 1 : 道案内をしよう <ul style="list-style-type: none"> <li>場所や位置を表わす表現</li> <li>道順を説明する表現</li> <li>交通手段に関する表現</li> <li>人称代名詞強勢形</li> <li>動詞 <i>préférer</i></li> </ul> </li> </ul>
10、11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>Module 5 Leçon 2 : 自分の住んでいるところについて語ろう <ul style="list-style-type: none"> <li>動詞 <i>prendre</i></li> <li>疑問副詞 <i>où</i> と <i>quand</i> の使い方</li> </ul> </li> <li>Module 5 Leçon 3 : 道路交通のルールについて学ぼう <ul style="list-style-type: none"> <li>不定冠詞と定冠詞</li> <li><i>de</i> と定冠詞の縮約</li> <li>否定の <i>de</i></li> </ul> </li> <li>● パフォーマンス課題 : 自分の住んでいる街について紹介しよう</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>Module 5 の復習</li> <li>外国語発表会準備</li> </ul>
1、2、3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語発表会準備</li> <li>● <b>Module 6 : Oscar (パーティを開こう)</b></li> <li>Module 6 Leçon 1 : 誕生日パーティに友人を招待しよう <ul style="list-style-type: none"> <li>時間の表現</li> <li>曜日や月の表現</li> <li>さまざまな <i>er</i> 動詞</li> <li>動詞 <i>venir</i></li> </ul> </li> <li>Module 6 Leçon 2 : 1日の活動について語ろう <ul style="list-style-type: none"> <li>代名動詞</li> <li>指示形容詞</li> </ul> </li> <li>Module 6 Leçon 3 : パーティを企画するためのアドバイスをしよう</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 命令形と否定命令</li> <li>● パフォーマンス課題：自分の土曜日の過ごし方を紹介しよう</li> </ul>
--	---

## ■ 単元指導案

### 1. 単元名

Module 5 : Imane (道案内・街紹介をしよう)

### 2. 単元の目標

<p>Module 5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の住んでいる街について紹介できるようになる。</li> <li>・ 道を尋ねたり、案内したりできるようになる。</li> <li>・ 場所や交通手段について説明できるようになる。</li> <li>・ パリの地区や名所、建築物について知ろう。</li> <li>・</li> </ul> <p>◎ フランス語で道案内や街紹介をするために必要な語彙や表現、発音、文法、ことばの働きや特徴について学び、コミュニケーションの相手や他者に分かりやすく（場合によっては魅力的に）説明する力を養う。また、道案内・街紹介において、必要な情報や考えを理解したり整理したり、あるいは表現したり伝え合ったりすることができるようになる。</p> <p>◎ パリのさまざまな地区や名所、建築物について知るとともに、自分の住んでいる街について主体的に調べることで、自分の街の魅力を再発見し、日本やフランスの多様な社会・文化に関心を広げ理解を深めていくことも目指す。</p>		
<p>生きて働く 知識・技能の習得</p>	<p>未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成</p>	<p>学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道案内・街紹介において必要となる語彙や表現、発音、文法、ことばの働きや特徴などを理解し、それらの知識を実際に活用していくための技能を身につける。</li> <li>・ パリのさまざまな地区や名所、建物について知るとともに、自分の住んでいる街についても調べ、地域についてより深く知ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道案内・街紹介において、習得したフランス語の知識・技能を、状況に合わせて適切に取捨選択・活用して、コミュニケーションの相手や他者に分かりやすく（場合によっては魅力的に）説明することができる。</li> <li>・ 道案内・街紹介において、パリや日本のさまざまな街に関する知識を踏まえ、相手や他者に配慮したり、地域事情を考慮したりしながら、状況に応じて適切に案内・紹介をす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道案内・街紹介について学んだことを踏まえ、日本やフランス語圏を含む多様な社会・文化に目を向け理解を深めながら、コミュニケーションの相手や他者に配慮し、状況に応じて必要な情報や考えを理解したり整理したり、あるいは表現したり伝え合ったりしていこうとする主体的な態度を養う。</li> <li>・ 自分の住む街について主体的に調べ、必要な情報を獲得・整理していくことで、地域の魅力を再発見することができる。</li> </ul>

	ることができる。	
--	----------	--

### 3. 社会と文化への気づきのポイント

- ・ パリのさまざまな地区や名所、建築物について知るとともに、自分の住んでいる街について調べ、必要な情報を整理したうえで紹介することで、自分の街の魅力を再発見することができる。
- ・ 日本とフランスについて、それぞれ地域ごとに多様な社会・文化があることに気づくことができる。

### 4. 他教科・他科目との連携

- ・ 社会科：地理的分野（1年次）
- ・ 国語科：接続詞や命令表現・敬語表現などとの比較
- ・ 英語科：道案内に関する英語特有の表現との比較（接続詞や命令文など）
- ・ i-Time（総合的な学習の時間）：調べたことを聞き手や読み手の立場になって分かりやすく表現する

### 5. パフォーマンス課題

自分の住んでいる街について紹介しよう

カリタスは海外の学校と英語やフランス語で交流をしています。オンライン交流をした La Tour 高校に通うクロエちゃんからメッセージが届きました。メッセージには、クロエちゃんが住んでいる街について紹介されています。そこで、あなたもお返事で、クロエちゃんに自分の街について紹介しましょう。また、次回のオンライン交流会に向けて、自分の街についてフランス語で語れるようにしましょう。

<注意事項>

- ・ 例文を参考にして作成しましょう。
- ・ 以下の **6項目**を必ず入れましょう。
  - 1) 学校の名前
  - 2) 自分の住んでいる場所
  - 3) 自分の街にあるもの
  - 4) près de ~ を使った表現

- 5) loin de ~ を使った表現
- 6) 自分の住んでいる街で、何をするのが好きか

例文

Thème (仏作文)

自分の通っている学校と、自分の住んでいる街について話そう！

Et toi, comment s'appelle ton collège ? Donne le nom d'autres lieux de ta ville.

例) Mon collège s'appelle le collège Caritas. J'habite à Yokohama. Dans ma ville, il y a tout : une piscine, une bibliothèque, des jardins, des supermarchés, etc. Moi, j'habite près du centre commercial LaLaport et pas loin de la bibliothèque Yamauchi. J'adore faire des courses\* près de chez moi. C'est pratique\* !

faire des courses\* 買い物をする pratique\* 便利

6. 学習指導における具体的な評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性	
		主体的に 学びに取り組む態度	観点別学習状況評価や評定には示しきれない 一人ひとりの生徒の よい点・可能性・進歩の状況
⇒観点別学習状況評価		⇒個人内評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道案内・街紹介において必要となる語彙や表現、発音、文法、ことばの働きや特徴などを理解し、それらの知識を実際に活用していくための技能を身につけること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道案内・街紹介において、習得したフランス語の知識・技能を、状況に合わせて適切に取捨選択・活用して、コミュニケーションの相手や他者に分かりやすく（場合によっては魅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道案内・街紹介において学んだこと、また日本やフランスの社会・文化について学んだことを踏まえながら、コミュニケーションの相手や他者に配慮して、必</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道案内・街紹介において学んだことを踏まえ、日本やフランス語圏を含む多様な社会・文化に目を向け理解を深めていく態度を養うことができた。</li> <li>・ 自分の住む街について主体的に調べ、必要な</li> </ul>

<p>ができた※<sup>1</sup>。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パリのさまざまな地区や名所、建物について知るとともに、自分の住んでいる街についてより深く知ることができた。</li> </ul>	<p>力的に) 説明する※<sup>2</sup> ことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道案内・街紹介において、パリや日本のさまざまな街に関する知識を踏まえ、コミュニケーションの相手や他者に配慮したり、地域事情を考慮したりしながら、状況に応じて適切に案内・紹介する※<sup>2</sup> ことができた。</li> </ul>	<p>要な情報や考えを主体的に整理したり理解したり、あるいは表現したり伝え合ったりしようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の住む街について主体的に調べ、必要な情報を獲得し整理することができた。</li> </ul>	<p>情報を獲得・整理していくことで、地域の魅力を再発見することができた。</p>
---	---	--	---

※1: 具体的には、「7. 単元の指導と評価の計画」のうち「学習活動」項目の下線部について、動詞の場合は活用や意味、使い方を正しく理解できているか、それ以外については、意味や使い方を正しく理解できているかを評価する。

※2: ネイティブの授業では「聞く」と「話す」を、日本人の授業では「読む」と「書く」を評価対象としている。

## 7. 単元の指導と評価の計画

次	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>Module 5 の目標説明</li> <li>道案内に関する dialogue を読んで理解する</li> <li><u>habiter、préférer、その他道案内に使うさまざまな er 動詞の学習</u></li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道案内において必要となる語彙や表現、文法を理解し、それらの知識を踏まえて道案内の会話文の内容を理解できている。</li> </ul>	<p>(記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動を確認する)</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>道案内に関する dialogue を読んで理解し、表現する</li> <li><u>前置詞、場所を表わす表現、交通手段に関する表現の学習</u></li> <li>人称代名詞強勢形および「<u>chez + 強勢形</u>」の表現を学ぶ</li> <li>パリの街並みについて知る</li> <li><u>街中の単語や道案内に必要な表現を学ぶ</u></li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>街中の語彙(建造物に関する語彙)、および道案内に必要な語彙や表現、文法を理解し、それらの知識を踏まえて道案内の会話文の内容を理解している。</li> <li>パリの地区や名所、建物について知識を深めることができる。</li> </ul>	<p>該当箇所の内容で作成された宿題プリント⑬⑭の取り組み状況</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>道順の説明に必要な表現や物</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p>	<p>該当箇所の内容で作成さ</p>

	<p>事を順序立てて言う際の表現の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>prendre</u> の意味と活用の学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道順の説明に必要な語彙や表現、物事を順序立てて説明する際の表現を理解している。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図を見て、道順を相手に分かりやすく順序立てて説明することができる。</li> </ul>	<p>れた宿題プリント⑮の取り組み状況</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>道案内の表現と物事を順序立てて言う際の表現の復習</u></li> <li>・ 街紹介のモノローグを読んで理解する</li> <li>・ 以下の文法事項について学ぶ <ul style="list-style-type: none"> <li>①不定冠詞と定冠詞</li> <li>②de + 定冠詞 <u>le, les</u> の縮約形</li> <li>③否定の <u>de</u></li> <li>④疑問文の作り方（復習）</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道順の説明に必要な語彙や表現、ことばの働きや特徴、また、物事を順序立てて言う際の表現を理解している。</li> <li>・ 道案内や街紹介をするうえで、正確に伝えるために必要な文法事項を理解している。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図を見て、道順を相手に分かりやすく順序立てて説明することができる。</li> <li>・ 道順を尋ね、（地図上で）目的地までたどることができる。</li> </ul>	<p>該当箇所の内容で作成された宿題プリント⑯の取り組み状況</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パリの地区や名所、建築物について知る</li> <li>・ 不定冠詞と定冠詞、前置詞の縮約、場所を表わす前置詞の復習</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道案内や街紹介をするうえで、正確に伝えるために必要な文法事項を理解している。</li> <li>・ パリの地区や名所、建物について知識を深めることができる。</li> </ul>	<p>該当箇所の内容で作成された宿題プリント⑰の取り組み状況</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 街紹介のモノローグを理解し、表現する</li> <li>・ <u>疑問副詞 où と quand を使った疑問文の作り方、答え方の学習</u></li> <li>・ 道案内に関する会話表現の復習と <u>重要表現の確認</u></li> <li>・ 自分の街の紹介文を作成する</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 街紹介に必要な表現や、物事を順序立てて言う際の表現を理解している。</li> <li>・ 道案内において、相手との約束に必要な語彙や表現、文法を理解している。</li> <li>・ 自分の住んでいる街について調べ、地域についてより深く知ることができる。</li> </ul>	<p>該当箇所の内容で作成された宿題プリント⑱⑲⑳の取り組み状況</p>

		<p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道案内に必要な語彙や表現、文法事項等を踏まえ、相手に目的地までのルートや交通手段など必要な情報を的確に伝えることができる。</li> <li>道案内や街紹介に関する語彙や表現、文法事項等を踏まえて、自分の住む街について読み手に分かりやすく(場合によっては魅力的に)伝わるよう紹介文を作成している。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の住む街について主体的調べ、必要な情報を獲得・整理してフランス語での紹介文の作成に活かそうとしている。</li> </ul>	
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>道案内に関する会話表現の復習と重要表現の確認</li> <li>交通手段の表現の復習</li> <li>自分の街の紹介文の修正</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道順の説明に必要な語彙や表現、文法、また、物事を順序立てて言う際の表現を理解している。</li> <li>自分の住んでいる街について調べ、地域についてより深く知ることができる。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道案内や街紹介に関する語彙や表現、文法事項等を踏まえて、自分の住む街について読み手に分かりやすく伝わるよう紹介文を作成している。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Module 5 でのこれまでの学びを踏まえ、読み手に配慮しながら、必要な情報や考えを主体的に整理し表現しようとしている。</li> </ul>	<p>該当箇所の内容で作成された宿題プリント⑱⑳の取り組み状況</p>

		・ 自分の住む街について主体的に調べ、必要な情報を獲得・整理してフランス語での紹介文の作成に活かそうとしている。	
--	--	--	--

備考：

「7. 単元の指導と評価計画」は、週2時間のうちの日本人教員の授業についての内容となっている。

① 1～4次

期間：9月～10月中旬（後期第一中間試験前）まで

学習箇所：Module 5 導入と Module 5 Leçon 1 : c'est où, chez toi ?

担当クラス：21、22 偶数クラス

② 5～7次

期間：10月中旬（後期第一中間試験後）～12月まで

学習箇所：Module 5 Leçon 2 : Mon quartier と Module 5 Leçon 3 : Le jeu de code de la rue

担当クラス：21、22 奇数クラス

8. パフォーマンス課題の評価ルーブリック

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a 街紹介に必要な語彙、表現、発音、文法、ことばの働きや特徴などを理解し、それらを適切に活用していこうとしている。	a 街紹介に必要な知識・技能を活用し、自分の住む街にあるものや街の特徴、魅力などを考え整理したうえで、読み手にとって理解しやすく魅力的な紹介文をフランス語で作成し、表現している。	a 自分の住む街について主体的に調べ、必要な情報を獲得・整理しようとしている。
b 一部に語彙や表現、文法等の誤りがあるが、フランス語を使って自分の街の紹介文を作成している。	b 一部理解しにくい箇所があるが、自分の住む街にあるものや街の特徴をまとめ、フランス語で表現しようとしている。	b 自分の住む街について調べ、必要な情報を獲得している。
c 「b」を満たしていない。	c 「b」を満たしていない。	c 「b」を満たしていない。

■ 本時の指導案

1. 本時の指導と評価の計画（第6次）

分	学習活動	具体的な評価規準	評価方法
5	・ あいさつ ・ 出席確認 ・ 本時の内容説明	—	—

10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宿題プリント⑱の確認</li> <li>①不定冠詞と定冠詞の使い分け</li> <li>②パリの街をガイドしよう</li> <li>・ パリの名所紹介</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不定冠詞と定冠詞の違いを正しく理解している。</li> <li>・ 街紹介に必要な表現 (à droite, à gauche, tout droit など) や物事を順序立てて言う際の表現を理解している。</li> </ul>	<p>該当箇所の内容で作成された宿題プリント⑱の取り組み状況の確認</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疑問文の作り方の復習</li> <li>①主語 + 動詞 ?</li> <li>②Est-ce que + 主語 + 動詞 ?</li> <li>③動詞 + 主語 ?</li> <li>・ 文法プリント p.11</li> <li>疑問副詞 où と quand を使った疑問文の作り方、答え方</li> <li>・ 宿題プリント⑲</li> <li>①疑問副詞 où と quand を使った疑問文の作り方、答え方</li> <li>②道案内に関する会話表現の復習と重要表現の確認</li> <li>・ 文法プリント p.12</li> <li>①交通手段の表現</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道案内において、相手との約束に必要な語彙や表現、文法(疑問副詞 où と quand、およびそれらを使った疑問文)を正しく理解している。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道案内に必要な語彙や表現、文法事項等を踏まえ、相手に目的地までのルートや交通手段など必要な情報を的確に伝えることができる。</li> </ul>	<p>該当箇所の内容で作成された宿題プリント⑲の取り組み状況の確認</p>
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宿題プリント⑳</li> <li>自分の街の紹介文の作成</li> </ul>	<p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道案内や街紹介に関する語彙や表現、文法事項等を踏まえて、自分の住む街について読み手に分かりやすく(場合によっては魅力的に)伝わるよう紹介文を作成している。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の住む街について主体的調べ、必要な情報を獲得・整理してフランス語での紹介文の作成に活かそうとしている。</li> </ul>	<p>該当箇所の内容で作成された宿題プリント⑳の取り組み状況の確認</p>
5	まとめ	—	—

備考：

宿題プリント⑳ (パフォーマンス課題に関するプリント) はロイロノートへの提出とし、教員が添削する。生徒の紹介文は、必要に応じて授業内またはロイロ内で共有する。